

発行:(一財)國學院大學院友會  
 http://www.kokugakuin.or.jp  
 E-mail: inyuukai@kokugakuin.or.jp  
 〒150-0011  
 東京都渋谷区東四丁目12番8号  
 電話 03(3400)7781(代)  
 FAX 03(3400)7996  
 郵便振替口座番号:00190-9-11208

# 國學院大學 院友會報

ご宿泊、ご婚礼、ご会合に、全国の  
 プリンスホテルをご利用ください。

◎お問合せ・ご予約は  
 グランドプリンスホテル高輪 **TEL.(03)3447-1111**

■高輪・品川 営業リーダー 加藤 昌史(112期) ■高輪・品川 フライダル 相原 美波(118期)  
 ■高輪・品川 営業 鳥海ちはる(119期)



絵馬は、吉田茂穂会長  
 (鶴岡八幡宮宮司)の作品

## 申と猿

國學院大學文学部教授

新谷 尚紀 (しんたに・たかのり)

今年の干支は丙申、申年である。陰陽五行の木火土金水の組み合わせからいえば、丙は火の兄、申は金の陽、熱く硬いイメージの年である。民俗学の立場から申年にちなむ猿といえ、(一)馬を守る厩舎の猿、(二)正月の猿まわし芸、そして(三)庚申信仰、である。中世の「一遍聖絵」や「石山寺縁起繪卷」には、馬を飼う厩舎に猿がつかねがれているシーンが描かれている。猿には馬を守る霊力があるという信仰があったからである。自然の野生猿が生息しないヨーロッパではギリシア、ローマの時代から猿を神聖視することはなかった。しかし、アジア各地では古くから靈獣視する例が多い。石田英一郎『河童駒引考』(一九四八)は、柳田國男「山島民譚集」(一九一四)に学びながらそのことを論じたものである。河童駒引きとは、農耕馬が一日の仕事を終えて川で泥を洗い落としたり水辺で草を食んでいるときに、河童が馬の尻子玉を狙って尻尾にしがみつき水中に引き込もうとする話である。その河童から馬を守ってくれるのが猿であった。河童は猿とも呼ばれ、河童ならぬ猿の駒引きの絵馬を厩舎に掛けてお守りとする例も多く、中国地方などでは昭和三十年代まで厩舎の柱に猿の頭蓋骨やミイラ化した腕などを掛けていた例が少なくなかった。



新谷 尚紀 (しんたに・たかのり)  
 昭和23年11月広島県生まれ。  
 昭和46年早稲田大学第一文学部卒業、昭和52年同大学院博士課程単位取得。社会学博士(慶應義塾大学)。国立歴史民俗博物館教授・総合研究大学院大学教授を経て現在名誉教授、平成22年(2010)より國學院大學文学部及び大学院教授。専門は柳田國男が折口信夫の理解のもとに創始した日本民俗学(民俗伝承学traditionology)

明治から大正の頃まで正月の猿まわしは頼めば厩舎で拜んでくれた例もあった。猿まわし芸は、中世の「吾妻鏡」や「融通念仏縁起」などにも登場し近世末期まで新春を寿ぐ芸能として朝廷や将軍家をはじめ諸大名でも年賀の行事に組み込まれていた。柳田國男はそのような猿まわしは単に見世物芸だけでなく馬医者をも兼ねていたと述べている。厩舎の猿といえ、日光東照宮の白馬の神厩舎の長押の上の「見ざる言わざる聞かざる」の彫刻である。日光に東照大権現を祭り、上野に東叡山寛永寺を建てて江戸の鬼門を守る幕府鎮護の寺としたのは南光坊天海である。天海が学んだ天台宗の比叡山の地主神が日吉山王権現。(一)その日吉の神のお使いが猿、(二)厩舎のお守りが猿、それに(三)庚申信仰の猿、の三者が東照宮の三猿の背景にはある。庚申信仰はもと道教の三尸の説から出たもので、六十一日目にめぐってくる庚申の日の夜、人間が眠ると体内にいる三尸の虫が体から抜け出て天帝にその人間の罪過を告げて早死にさせる、だからその夜は眠らず徹夜するという信仰と行事であった。平安時代に貴族たちの徹夜の遊宴の行事であった庚申を、室町時代に書面金剛を主神とする信仰へと変換させたのは天台宗系の修験者たちであった(拙著『死と人生の民俗学』一九九五)。その庚申の申が庶民信仰の中で動物の猿へと結びついていったのである。江戸時代の関東地方では庚申塔がさかんに建立されたが、初期のものには三尸にちなんで、何も「見ざる言わざる聞かざる」という三猿を刻んでいる庚申塔の例が多い。

夏目漱石は慶應三年(一八六七)一月五日の庚申の日の生まれ、両親が心配して金之助と名づけた。庚も金、申も金、徹夜すべき日の同衾は禁、その禁忌を破って生まれた子は金にちなんで盗人となる、庚申の日に生まれた子も同様、そこで名前に金の字をつけてそれを防いだ。申年をめぐる民俗と歴史の世界もさぐってみればなかなか奥が深いようである。

### プロ野球 ドラフト会議



**横浜DeNAベイスターズから指名。背番号「31」に。**  
 平成27年10月22日(木)、Grandプリンスホテル新高輪で行われた「プロ野球ドラフト会議」。硬式野球部主将の柴田竜拓(しばたつひろ/経4年:内野手)君が、横浜DeNAベイスターズから3巡目で指名された。柴田君は岡山県の岡山理大附属高校出身。昨夏の韓国光州で開催された第28回ユニバーシアード競技大会に日本代表として出場し、見事金メダルを獲得した。

### あけましておめでとうございます

- |    |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |        |       |       |       |       |        |       |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 監事 | 小林 英夫 | 寺澤 悠  | 理事    | 加藤 元茂 | 常務理事  | 針本 正行 | 副会長   | 今井 亮  | 吉田 茂穂 | 参事    | 船田 浩二 | 藤久保 泰幸 | 安蘇谷 正彦 | 佐藤 早苗 | 外山 勝志 | 杉山 夫  | 松村 博  | 上野 貞麻呂 |       |
| 顧問 | 角川 賢二 | 湯谷 昌生 | 菅野 雅雄 | 菅野 源彦 | 菅野 源彦 | 佐藤 美穂 | 宇井 真野 | 宇井 真野 | 宇井 真野 | 宇井 真野 | 宇井 真野 | 宇井 真野  | 宇井 真野  | 宇井 真野 | 宇井 真野 | 宇井 真野 | 宇井 真野 | 宇井 真野  | 宇井 真野 |



年頭にあたり

沢山の語りを楽しみに



一般財団法人 國學院大學院友会 会長 吉田茂穂

明けましておめでとう... 院友のみなさまには、新しきよき年をお迎えに...

新年、おめでとうござい... 昨年は、皆様どのよう...

國學院との新たな絆今年も



須田 秀穂 (すだひでお/91法) 株式会社東京ワイン 代表取締役

久我山高校では、入学... 早々一年生全員が富士山...

す。相当厳しくて、当時... は、何で?と思うよう...

ます。八王子とは言え... 京王八王子駅からバスに...

酒造の横沢会長からも... 様の話をいただき、ぜひ...

新年に想う



お話をくださったのは感... そのものでした。そんな...

加しております。また、... 私の住む紫波町は國學院...

今年も、新たなご縁を楽しみに



横沢 大造 (よこざわだいぞう/75経) 有限会社月の輪酒造店 代表取締役会長

皆様、あけましておめ... どうぞございます。

その少々違った学校と... は國學院でした。入学式...

ご縁で鹿児島島の焼酎メ... カイ若潮酒造の下戸会長...

平成二十四年に一般財... 団法人へ移行してから特...

私を生まれば造り酒屋... です。酒屋に生まれて酒...

後には酒問屋で修業し、... は酒屋商売をやっている...

また、岩手では院友会... 活動が盛んです。当初は...

この度大学のホームカミ... ングデーに焼酎、ワイン、...

同級、同窓、同郷、同... 業と、数々の國學院大學...

謹賀新年

Table listing members of the board and staff of Gakushuin University, including names like 赤井 正久, 針本 研一, etc.



昨年の年始に社員一同記念撮影







<b>岩手県神社庁</b> 庁長 藤原 隆磨 〒020-0872 盛岡市八幡町13-2 電話 019-622-8648 F A X 019-653-6092	<b>青森県神社庁</b> 庁長 島浦 千晴 〒038-0024 青森市浪館前田1-2-1 電話 017-781-9461	<b>北海道神社庁</b> 庁長 吉田 源彦 副庁長 山田 一孝 副庁長 中村憲由樹 〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘474-35 電話 011-621-0769	<b>神宮司庁</b> 神宮大宮司 鷹司 尚武 神宮少宮司 亀田 幸弘 〒516-0023 伊勢市宇治館町1 電話 0596-24-1111	<b>神社本庁</b> 統理 北白川道久 総長 田中 恆清 副総長 小串 和夫 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-1-2 電話 03-3379-8011
<b>千葉県神社庁</b> 庁長 杉山 林繼 副庁長 高橋 義人 副庁長 岡嶋 千暁 〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町219 電話 043-261-3293	<b>埼玉県神社庁</b> 庁長 中山 高嶺 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-643-3542	<b>栃木県神社庁</b> 庁長 石原 敬士 〒320-0015 宇都宮市八幡台14-24 電話 028-625-2011 F A X 028-624-3217	<b>福島県神社庁</b> 庁長 丹治 正博 〒963-8034 郡山市島1丁目10-20 電話 024-925-0457	<b>山形県神社庁</b> 庁長 渋谷 宣寛 〒990-0053 山形市薬師町2-8-75 電話 023-622-4509 F A X 023-624-5660
<b>石川県神社庁</b> 庁長 加藤 治樹 副庁長 寶達 俊臣 副庁長 北村 嘉章 〒920-0811 金沢市小坂町西44	<b>富山県神社庁</b> 庁長 平尾 旨明 〒930-0088 富山市諏訪川原1-10-21 電話 076-432-7390 F A X 076-442-7999	<b>新潟県神社庁</b> 庁長 小林 直毅 〒955-0042 三条市下坂井14番21号 電話 0256-32-0613	<b>神奈川県神社庁</b> 庁長 吉田 茂穂 〒235-0019 横浜市磯子区磯子台20-1 電話 045-761-6387	<b>東京都神社庁</b> 庁長 松山 文彦 〒107-0051 港区元赤坂2丁目2番3号 電話 03-3404-6525 F A X 03-3404-6547
<b>三重県神社庁</b> 庁長 石上 紀男 〒514-0005 津市鳥居町210-2 電話 059-226-8042 F A X 059-223-0892	<b>静岡県神社庁</b> 庁長 櫻井 豊彦 〒420-0821 静岡市葵区袖木250-2 電話 054-261-9030	<b>長野県神社庁</b> 庁長 藤井 茂信 〒380-0801 長野市箱清水1-6-1 電話 026-232-3355	<b>山梨県神社庁</b> 庁長 根津 泰昇 〒400-0013 甲府市岩窪町572 電話 055-288-0003	<b>福井県神社庁</b> 庁長 宮川 脩 〒918-8014 福井市花堂中1-3-28 電話 0776-34-5846
<b>岡山県神社庁</b> 庁長 河本 貞紀 副庁長 牧 博嗣 副庁長 藤山知之進 〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 電話 086-270-2122 (代)	<b>島根県神社庁</b> 庁長 青木 義興 副庁長 角河 和幸 副庁長 忌部 正孝 島根県出雲市大社町	<b>和歌山県神社庁</b> 庁長 西川 秀紀 〒641-0022 和歌山市和歌浦南3丁目4番10号 電話 073-446-5611	<b>兵庫県神社庁</b> 庁長 西井 璋 副庁長 泉 和慶 副庁長 六車 勝昭 〒650-0015 神戸市中央区多聞通3-1-1 電話 078-341-1145	<b>大阪府神社庁</b> 庁長 寺井 種伯 副庁長 渡邊 紘一 副庁長 岡市 正規 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目渡辺6号 電話 06-6245-5741
<b>宮崎県神社庁</b> 庁長 杉田 秀清 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番2号 電話 0985-25-1775	<b>熊本県神社庁</b> 庁長 宮崎 國忠 〒860-0005 熊本市中央区宮内3番1号 電話 096-322-7474 F A X 096-322-6220	<b>長崎県神社庁</b> 庁長 池田 剛康 〒850-0006 長崎市上西山町19番3号 電話 095-827-5689 F A X 095-823-2801	<b>佐賀県神社庁</b> 庁長 鍋島 朝倫 〒840-0843 佐賀市川原町8-27 電話 0952-23-2616 F A X 0952-23-2606	<b>福岡県神社庁</b> 庁長 西高辻 信良 〒812-0055 福岡市東区東浜1-5-88 電話 092-641-3505
<b>樽前山神社</b> 宮司 永井 承邦 〒053-0035 苫小牧市高丘6-49 電話 0144-36-6661	<b>新琴似神社</b> 宮司 田湯 直宜 〒001-0908 札幌市北区新琴似八条3丁目1番6号 電話(代) 011-761-0631 <a href="http://www.shinkotonijinja.or.jp/">http://www.shinkotonijinja.or.jp/</a>	<b>亀田八幡宮</b> 宮司 藤山 豊昭 〒040-0083 函館市八幡町3番2号 電話 0138-41-5467	<b>帯廣神社</b> 宮司 大野 清徳 〒080-0803 帯広市東三条南2-1 電話 0155-23-3955	<b>沖縄県神社庁</b> 庁長 渡慶次 馨 副庁長 新垣 義夫 〒900-0031 那覇市若狭1-25-11 電話 098-868-3697
<b>陸中一宮 駒形神社</b> 宮司 山下 明 〒023-0857 岩手県奥州市水沢区中上野町1-83 電話 0197-23-2851 F A X 0197-23-2847	<b>高山稲荷神社</b> 宮司 工藤 均 〒038-3305 青森県つがる市牛湯町 電話 0173-56-2015	<b>北海道神宮</b> 名誉宮司 原口 法義 宮司 吉田 源彦 〒064-8505 札幌市中央区宮ヶ丘474	<b>富良野神社</b> 宮司 西川 邦秀 〒076-0032 富良野市若松町17-6 電話 0167-22-2731 F A X 0167-23-6640	<b>函館八幡宮</b> 宮司代務者 中村憲由樹 〒040-0046 函館市谷地頭町2番5号 電話 0138-22-3636
<b>秋田県護国神社</b> 名誉宮司 面山 千岳 宮司 面山 浩康 〒011-0939 秋田市寺内大畑5-3 電話 018-845-0337 F A X 018-845-3341	<b>宮城県護国神社</b> 宮司 田中 光彦 権宮司 田中於菟彦 〒980-0862 仙台市青葉区青葉城址天守台 電話 022-223-7255 F A X 022-223-7269	<b>竹駒神社</b> 宮司 千葉 博男 権宮司 村田 守広 〒989-2443 宮城県岩沼市稲荷町1番1号 電話 0223-22-2101 F A X 0223-22-3879	<b>志波彦神社 鹽竈神社</b> 宮司 鍵 三夫 〒985-8510 宮城県塩竈市一森山1番1号 電話 022-367-1611	<b>奥州総鎮護 志和稲荷神社</b> 宮司 鱒沢 克美 〒028-3442 岩手県紫波郡紫波町升沢字前平17 電話 019-673-7608 F A X 019-673-7625
<b>心清水八幡神社</b> 宮司 戸内 康雅 禰宜 戸内 英景 〒969-6584 福島県河沼郡会津坂下町塔寺 電話 0242-83-2553	<b>開成山大神宮</b> 宮司 宮本 孝 〒963-8851 福島県郡山市開成3-1-38 電話 024-932-1521 F A X 024-939-4410	<b>岩代國一之宮 伊佐須美神社</b> 〒969-6263 福島県大沼郡会津美里町字宮林甲4377 電話 0242-54-5050 (代)	<b>出羽三山神社</b> 名誉宮司 緒方 久信 宮司 宮野 直生 権宮司 阿部 良一 〒997-0292 山形県鶴岡市羽黒町手向7	<b>太平山頂上鎮座 太平山三吉神社総本宮</b> 宮司 田村 泰教 〒010-0041 秋田市広面字赤沼3-2 電話 018-834-3443 F A X 018-834-3444
<b>鹿島神宮</b> 名誉宮司 上野 貞文 宮司 鹿島 則良 権宮司 東 俊二郎 〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中2306-1 電話 0299-82-1209 (代) F A X 0299-82-1625	<b>笠間稲荷神社 笠間稲荷美術館</b> 宮司 塙 東男 館長 塙 東男 〒309-1611 笠間市笠間1 電話 0296-73-0001 (代) F A X 0296-73-0002	<b>大杉神社</b> 宮司 市川 久仁守 〒300-0621 茨城県稲敷市阿波958 電話 029-894-2613 F A X 029-894-3636 <a href="http://www.oosugi-jinja.or.jp">http://www.oosugi-jinja.or.jp</a>	<b>大洗磯前神社 大洗海洋博物館</b> 宮司 飯塚 重 〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 電話 029-267-2637 F A X 029-267-7557	<b>さくら山 しあわせの社 茨城県護国神社</b> 宮司 佐藤 昭典 〒310-0912 水戸市見川1-2-1 電話 029-241-4781 <a href="http://www.sakura559.net/">http://www.sakura559.net/</a>
<b>前橋 東照宮</b> 宮司 瀬尾 茂 〒371-0026 前橋市大手町3-13-19 電話 027-231-2031 F A X 027-231-2034 <a href="http://www.toshogu.net">http://www.toshogu.net</a>	<b>日光二荒山神社</b> 宮司 吉田 健彦 本社 〒321-1431 日光市山内2307 電話 0288-54-0535 中宮祠 〒321-1661 日光市中宮祠2484 電話 0288-55-0017 <a href="http://nikko.futarasan.jp">http://nikko.futarasan.jp</a>	<b>日光東照宮</b> 宮司 稲葉 久雄 〒321-1431 日光市山内2301 電話 0288-54-0560 F A X 0288-54-0061	<b>宇都宮二荒山神社</b> 宮司 阿部 愷 〒320-0026 宇都宮市馬場通り1丁目1番1号 電話 028-622-5271	<b>常磐神社</b> 名誉宮司 武浪 嗣一 宮司 寺内 義興 〒310-0033 水戸市常磐町1丁目3番1号 電話 029-221-0748 <a href="http://komonsan.jp/">http://komonsan.jp/</a>



応援します！ 学術・スポーツ振興資金

スポーツから学ぶ



笹田 弥生 (ささだ・やよい) 推 人間開発学部 准教授

院友の皆様、あけましておめでとうございます。國學院高校在籍中、私は体操部に所属し、毎日放課後体育館で汗を流してまいりました。十八時過ぎにはほとんどの部活が終了する中、体操部は特別に二十時まで練習をさせて頂きました。

で、慢性的な睡眠不足の日々が思い出されます。しかし、学校や時に日本代表で出場する大会には、いつもと違う活気のある世界を感じる事ができ、同じように上を目指して努力し汗を流すアスリートが大勢いることに刺激を受け、新鮮でした。

がんばれ母校! がんばろう院友!

勉強は学校在学時のみだけでなく、次のステップアップには常に必要になるものです。社会人でも、仕事を覚えた後でもスキルアップは当然必要です。そんな時スポーツの経験は、あらゆる場面で役に立ちます。気分転換・体力の向上・大切な仲間との出会い・失敗や挫折等、あらゆる体験を通して人格形成もされます。環境があるなら、若い時には是非時間を割いても挑戦するべきだと思います。なにより二〇二〇年二回目の東京五輪が開催されます。今やスポーツはするだけでなく



対象団体から...がんばります! 学術・スポーツ振興資金

学術部門

院友の皆様、「学術・スポーツ振興資金」(学術部門 デジタルライブラリー)への支援につきまして、大変お世話になっております。

デジタルライブラリー「甘露堂文庫」のなかには「甘露堂文庫旧蔵資料(伊藤孝一氏旧蔵)」として一括して収録されている資料があります。この資料は、名古屋の大地主であり、登山家としても知られた伊藤孝一氏の旧蔵資料のうち、江戸文学関係を中心とした資料です。

「甘露堂文庫」の資料の多くは天理図書館に収録されていますが、本書と同じ系統のもので巻物の形になったものが佛教大学図書館に所蔵されています。佛大本もデジタル化してあります。本書と比較するとまた違った発見があるかもしれません。

学術メディアセンター 事務部図書館事務課 記



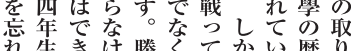
月々のあそび

各月の行事や祭礼、遊びの様子を絵と詞で描かれたものです。本書と同じ系統のもので巻物の形になったものが佛教大学図書館に所蔵されています。佛大本もデジタル化してあります。本書と比較するとまた違った発見があるかもしれません。

学術メディアセンター 事務部図書館事務課 記

スポーツ部門

★硬式野球部★



2塁から、左安の間にホームインする櫻吉選手-対亜大(10/27)

勝負強いこと、院友の皆様、あけましておめでとうございます。いつもご支援ご声援ありがとうございます。皆様のお力が我々の大きな励みになっております。

硬式野球部はここ数年、優勝まであとひと息という所まで進んでおります。なかなかその壁を越える事ができておりません。二年連続で勝った方が優勝という優勝決定戦で亜細亜大学に敗れております。

勝利の世界には「僅差は大差」という言葉があります。一見、紙一重に見える所が実は紙一重ではないという事があると思っております。試合に負けてから時間が経てば経つ程、負けた要因が次々と見えてきます。

我々は、悔しい敗戦から逃げる訳にはいきません。そこに立ち向かうからこそ、より強くなれるのだと思っております。昨年一年間も、マネージャーの半田、石橋をはじめ、土倉、新ヶ江、大前、柴田、鈴木たち四年生が大きな働きをしてくれました。

ここ数年の卒業生たちは、毎シーズン優勝争いをするといい地力をチームに残してくれています。一年一年の毎年の必死の取り組みが、國學院大学の歴史を積み上げてくれています。

しかし、必死に準備し、戦っているのは我々だけでなく、他大学も同じです。勝負強いチームにならなければ生き残ることはできません。卒業する四年生を「負けた悔しさを忘れずに卒業しろ。勝

★陸上競技部★

全日本大学駅伝を終えてそして今年はいよいよ院友の皆様方、目頃よりたくさんのご支援をいただきまして誠にありがとうございます。我々陸上競技部は去年の十一月一日(日)に行われた全日本大学駅伝対校選手権大会に出場いたしました。

九年ぶりに熱田と伊勢を結ぶ神聖な大会で、先輩方が築き上げてきた歴史を再び動かし、また新たな歴史を刻むという覚悟を持って挑みました。

各大学のエースがそろった一区では細森(法三年)が先頭集団に喰らいつき、粘りの走りで見事に流れをつくと、2区の向(健体二年)が初の大学駅伝とは思えない力走をみせるなど、下級生の活躍が光りました。

また八区アンカーの瀬川(法四年)は他大の格上の選手に一步も引くことなく挑むその姿は、次世代の後輩たちに何かを伝える走りだったと思います。十五位という結果で悔し涙を飲む形になりました。

が、ほぼ全員が國學院記録を塗り替え、総合タイムも大幅に更新したことは、今後には必ず繋がると思っています。

第九十二回箱根駅伝は出場出来ません。この悔しさを誰一人忘れたことはありません。新主将蜂

Table with 10 columns: Rank, Team, Win/Loss, Points, etc. Title: 平成27年度 東都大学野球秋季リーグ戦(星取表)



90kg級田村君(左)の勇姿(講道館杯)

須賀(健体三年)は「個の力こそがチームを変えろ」として新チームをスタートさせています。一人ひとりが「個の力」を高めて、予選会では去年成し遂げられなかったトップ通過を目標にしていこうと共々、本戦ではシード権獲得を胸に刻み、これから日々精進して参りたいと思っております。

どうにか変わらぬご支援・ご声援の程、よろしくお願いたします。

主務 三田訓利(日文四年) 記

新年賀詞

- List of New Year Greetings from various departments: 國學院大學久我山中学校, 國學院大學久我山高等学校, 國學院高等學校, 國學院附屬幼稚園, 國學院幼稚園, 北海道短期大学部.



<p><b>三峯神社</b> 宮司 中山 高嶺 〒369-1902 埼玉県秩父市三峰298-1 電話 0494-55-0241 FAX 0494-55-0328 http://www.mitsuminejinja.or.jp/</p>	<p>延喜式内社 <b>調神社</b> 宮司 吉田 正臣 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町3-17-25 電話 048-822-2254 (9:00~16:00まで)</p>	<p><b>秩父神社</b> 宮司 蘭田 稔 〒368-0041 秩父市番場町1-1 電話 0494-22-0262 FAX 0494-24-5596</p>	<p>たきのみや <b>瀧宮神社</b> 宮司 渡邊 俊雄 〒366-0824 埼玉県深谷市西島5-6-1 電話 048-571-0741 FAX 048-578-7406</p>	<p><b>高麗神社</b> 宮司 高麗 文康 〒350-1243 埼玉県日高市新堀833 電話 042-989-1403 FAX 042-985-2794</p>
<p><b>浅草神社</b> 宮司 矢野 泰良 〒111-0032 台東区浅草2-3-1 電話 03-3844-1575</p>	<p>上總國一之宮 式内名神大社 <b>玉前神社</b> 宮司 栗原 崇次 http://tamasaki.org</p>	<p><b>香取神宮</b> 宮司 高橋 昭二 〒287-0017 千葉県香取市香取1697 電話 0478-57-3211 (代)</p>	<p><b>安房神社</b> 宮司 岡嶋 千暁 〒294-0233 千葉県館山市大神宮589 電話 0470-28-0034 FAX 0470-28-0438</p>	<p><b>鷲宮神社</b> 宮司 相澤 力 〒340-0217 埼玉県久喜市鷲宮1-6-1 電話 0480-58-0434 FAX 0480-59-2021</p>
<p><b>小野照崎神社</b> 宮司 小野 貴嗣 〒110-0004 台東区下谷2-13-14 電話 03-3872-5514 FAX 03-3872-4238</p>	<p><b>大宮八幡宮</b> 宮司 鎌田 紀彦 〒168-8570 杉並区大宮2-3-1 電話 03-3311-0105 FAX 03-3318-6100 http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp</p>	<p>武蔵総社 <b>大國魂神社</b> 宮司 猿渡 昌盛 〒183-0023 府中市宮町3-1 電話 042-362-2130</p>	<p><b>井草八幡宮</b> 宮司 宮崎 昌文 〒167-0041 東京都杉並区せんぶくじ1-33-1 電話 03-3399-8133</p>	<p><b>穴八幡宮</b> 宮司 齋藤 成彰 〒162-0051 新宿区西早稲田2-1-11 電話 03-3203-7212</p>
<p><b>水天宮</b> 宮司 有馬 頼央 〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町2-4-1 電話 03-3666-7195 FAX 03-3808-1158</p>	<p><b>榊神社</b> 宮司 安川 忠正 〒111-0051 台東区蔵前1-4-3 電話 03-3851-1514</p>	<p><b>子安神社</b> 宮司 松宮 兼房 〒192-0046 八王子市明神町4-10-3 電話 042-642-2551 FAX 042-645-9817</p>	<p><b>神田神社</b> 宮司 大鳥居 信史 〒101-0021 千代田区外神田2-16-2 電話 03-3254-0753 FAX 03-3255-8875</p>	<p>亀戸 <b>香取神社</b> 宮司 香取 邦彦 禰 宜 香取 正彦 〒136-0071 東京都江東区亀戸3-57-22 電話 03-3684-2813</p>
<p><b>花園神社</b> 宮司 片山 裕司 〒160-0022 新宿区新宿5-17-3 電話 03-3209-5265 FAX 03-3209-5645</p>	<p><b>中目黒八幡神社</b> 宮司 岡部 定征 〒153-0061 東京都目黒区中目黒3-10-5 電話 03-3712-5507 FAX 03-3710-5907</p>	<p><b>富岡八幡宮</b> 富岡 長子 〒135-0047 江東区富岡1-20-3 電話 03-3642-1315 FAX 03-3642-5580</p>	<p><b>東郷神社</b> 宮司 福田 勉 〒150-0001 渋谷区神宮前1-5-3 電話 03-3403-3591 FAX 03-3403-8205</p>	<p><b>東京大神宮</b> 宮司 松山 文彦 〒102-0071 千代田区富士見2-4-1 電話 03-3262-3566</p>
<p><b>谷保天満宮</b> 宮司 津戸 最 〒186-0011 東京都国立市谷保5209 電話 042-576-5123 FAX 042-576-5124</p>	<p><b>靖國神社</b> 宮司 徳川 康久 権宮司 小方 孝次 権宮司 坂 明夫 〒102-8246 千代田区九段北3丁目1番1号 電話 03-3261-8326 FAX 03-3261-0081</p>	<p><b>明治神宮</b> 名誉宮司 外山 勝志 宮司 中島精太郎 権宮司 宮崎 重廣 権宮司 男成 洋三 権宮司 網谷 道弘 〒151-8557 渋谷区代々木神園町1-1 電話 03-3379-5511</p>	<p><b>東伏見稻荷神社</b> 宮司 葦津 元成 〒202-0021 西東京市東伏見1-5-38 電話 042-461-1125 (代)</p>	<p><b>日枝神社</b> 宮司 宮西 修治 〒100-0014 千代田区永田町2-10-5 電話 03-3581-2471</p>
<p>相州土甘総社 <b>皇大神宮</b> 宮司 関根 正統 〒251-0021 藤沢市鶴沼神明2-11-5 電話 0466-24-5590 http://www.koudaijinguu.com</p>	<p><b>鎌倉宮</b> 宮司 長岡 仁志 〒248-0002 鎌倉市二階堂154 電話 0467-22-0318 FAX 0467-22-3755 http://www.kamakuraguu.jp</p>	<p><b>江島神社</b> 宮司 相原 罔彦 〒251-0036 藤沢市江ノ島2-3-8 電話 0466-22-4020</p>	<p><b>伊勢山皇大神宮</b> 宮司 池田 正宏 〒220-0031 横浜市西区宮崎町64番地 電話 045-241-1122 FAX 045-242-7766</p>	<p><b>湯島天満宮</b> 宮司 押見 守康 〒113-0034 文京区湯島3-30-1 電話 03-3836-0753 FAX 03-3836-0694</p>
<p><b>平塚八幡宮</b> 宮司 宅野 順彦 〒254-0041 平塚市浅間町1-6 電話 0463-23-3315</p>	<p><b>箱根神社</b> 名誉宮司 濱田 進 宮司 小澤 修二 〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根80-1 電話 0460-83-7123 (代) FAX 0460-83-6669</p>	<p><b>鶴岡八幡宮</b> 宮司 吉田 茂穂 〒248-8588 鎌倉市雪ノ下2-1-31 電話 0467-22-0315 URL http://www.hachimangu.or.jp</p>	<p>武相総鎮護 <b>座間神社</b> 宮司 山本 孝司 座間市座間1-3437</p>	<p>相模國一之宮 <b>寒川神社</b> 宮司 利根 康教 〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916 電話 0467-75-0004</p>
<p><b>彌彦神社</b> 宮司 永田 忠興 〒959-0393 新潟県西蒲原郡弥彦村 電話 0256-94-2001 (代) FAX 0256-94-4552</p>	<p>新潟総鎮守 <b>白山神社</b> 宮司 小林 敬直 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町1-1 電話 025-228-2963</p>	<p><b>新潟縣護國神社</b> 宮司 齋藤 伸雄 〒951-8101 新潟市中央区西船見町 電話 025-229-4345 FAX 025-229-0554</p>	<p>悠久山 <b>蒼柴神社</b> 宮司 永井 康雄 〒940-0827 新潟県長岡市悠久山 電話 0258-33-1769 FAX 0258-34-4838</p>	<p><b>師岡熊野神社</b> 宮司 石川 正人 〒222-0002 横浜市港北区師岡町1137 電話 045-531-0150 FAX 045-541-9356 URL http://www.kumanojinja.or.jp</p>
<p>平成29年 白山開山1300年 <b>白山比咩神社</b> 宮司 村山 和臣 〒920-2114 石川県白山市三宮町 http://www.shirayama.or.jp</p>	<p><b>尾山神社</b> 宮司 加藤 治樹 〒920-0918 石川県金沢市尾山町11番1号 電話 076-231-7210 FAX 076-231-4685</p>	<p><b>日枝神社</b> 宮司 平尾 旨明 〒930-0064 富山市山王町4番12号 電話 076-421-6318</p>	<p><b>富山縣護國神社</b> 宮司 梶野 守雄 〒930-0077 富山市磯部町1-1 電話 076-421-6957 FAX 076-421-6965</p>	<p>越中一宮 <b>高瀬神社</b> 宮司 藤井 秀弘 権宮司 藤井 秀嗣 〒932-0252 富山県南砺市高瀬291 電話 0763-82-0932 http://www.takase.or.jp/</p>
<p><b>富士山小御嶽神社</b> 宮司 小佐野 正史 〒403-0005 富士吉田市上吉田小御嶽下(富士山五合目) 電話 0555-72-1475 FAX 0555-22-0965</p>	<p><b>北口本宮富士浅間神社</b> 宮司 上文司 厚 〒403-0005 富士吉田市上吉田5558 電話 0555-22-0221 FAX 0555-24-5221</p>	<p>甲斐國あさま一宮 <b>浅間神社</b> 宮司 古屋 真弘 〒405-0056 山梨県笛吹市一宮町一ノ宮1684 電話 0553-47-0900 FAX 0553-47-3963</p>	<p>文武両道 新田義貞公之大宮 <b>藤島神社</b> 宮司代務者 新田 義和 〒918-8003 福井市毛矢3-8-21 電話 0776-35-7010 FAX 0776-35-7012</p>	<p><b>氣比神宮</b> 名誉宮司 桑原 恒明 宮司 福本 祐喜 〒914-0075 福井県敦賀市曙町11-68 電話 0770-22-0794</p>
<p><b>御嶽神社</b> 宮司 武居 哲也 〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳黒沢 電話 0264-46-3076</p>	<p><b>武水別神社</b> 宮司 堀内 潔人 〒387-0023 長野県千曲市八幡 電話 026-272-1144</p>	<p><b>諏訪大社</b> 上社本宮 〒392-0015 諏訪市中洲宮山1番地 電話 0266-52-1919 下社秋宮 〒393-0052 諏訪郡下諏訪町5828番地 電話 0266-27-8035</p>	<p><b>生島足島神社</b> 〒386-1211 上田市下之郷中池 電話 0268-38-2755 FAX 0268-39-1515</p>	<p><b>山梨縣護國神社</b> 宮司 羽中田 進 〒400-0013 甲府市岩窪町608番地 電話 055-252-6371 FAX 055-254-4887</p>







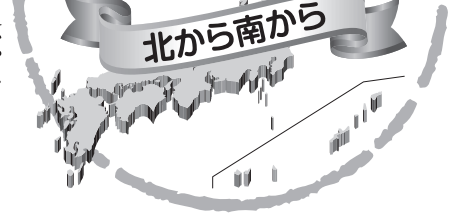
<p><b>久能山東照宮</b> 宮司 落合 偉洲 〒422-8011 静岡市駿河区根古屋390 電話 054-237-2438</p>	<p><b>熱海 來宮神社</b> 宮司 雨宮 盛克 〒413-0034 熱海市西山町43番1号 電話 0557-82-2241 F A X 0557-82-2242</p>	<p><b>秋葉山本宮 秋葉神社</b> 宮司 河村 基夫 〒437-0693 静岡県浜松市天竜区春野町 領家秋葉山 電話 053-985-0111 (上社) 053-985-0005 (下社)</p>	<p><b>岐阜護國神社</b> 宮司 宇都宮 幸嗣 岐阜市御手洗393 電話 058-264-4321 URL <a href="http://www.gifu-gokoku.com">http://www.gifu-gokoku.com</a></p>	<p><b>伊奈波神社</b> 宮司 東 道人 〒500-8043 岐阜市伊奈波通1-1 電話 058-262-5151 <a href="http://www.inabasan.com">http://www.inabasan.com</a></p>
<p>尾張國一之宮 <b>真清田神社</b> 宮司 辰 守弘 〒491-0043 愛知県一宮市真清田1丁目2番1号 電話 0586-73-5196 F A X 0586-73-5198</p>	<p><b>砥鹿神社</b> 宮司 香取 武 〒441-1231 愛知県豊川市一宮町西垣内2 電話 0533-93-2001</p>	<p><b>三嶋大社</b> 宮司 矢田部 盛男 〒411-0035 三島市大宮町2-1-5 電話 055-975-0172</p>	<p><b>富知六所浅間神社</b> 宮司 櫻井 豊彦 〒417-0073 静岡県富士市浅間本町5-1 電話 0545-52-1270 F A X 0545-52-8972</p>	<p><b>静岡浅間神社</b> 宮司 櫻井 豊彦 〒420-0868 静岡市葵区宮ヶ崎町102-1 電話 054-245-1820 F A X 054-248-0360</p>
<p><b>賀茂別雷神社(上賀茂神社)</b> 宮司 田中 安比呂 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山339 電話 075-781-0011 F A X 075-702-6618</p>	<p><b>石清水八幡宮</b> 宮司 田中 恆清 権宮司 田中 朋清 〒614-8588 京都府八幡市八幡高坊30 電話 075-981-3001 (代)</p>	<p><b>二見興玉神社</b> 〒519-0602 三重県伊勢市二見町江575 電話 0596-43-2020 F A X 0596-43-2015</p>	<p><b>多度大社</b> 宮司 塚原 徳生 〒511-0106 三重県桑名市多度町多度1681 電話 0594-48-2037 F A X 0594-48-5381</p>	<p><b>猿田彦神社</b> 宮司 宇治土公 貞尚 〒516-0026 伊勢市宇治浦田2丁目1-10 電話 0596-22-2554 (代) F A X 0596-28-9955</p>
<p><b>吉田神社</b> 宮司 澤井 隆男 〒606-8311 京都市左京区吉田神楽岡町30 電話 075-771-3788</p>	<p><b>平安神宮</b> 宮司 九條 道弘 〒606-8341 京都市左京区岡崎西天王町 電話 075-761-0221</p>	<p><b>伏見稻荷大社</b> 宮司 中村 陽 〒612-0882 京都市伏見区深草藪之内町68 電話 075-641-7331</p>	<p><b>北野天満宮</b> 宮司 橘 重十九 〒602-8386 京都市上京区馬喰町 電話 075-461-0005</p>	<p><b>賀茂御祖神社</b> 宮司 新木 直人 権宮司 宮 暘 〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 電話 075-781-0010 F A X 075-781-4722</p>
<p><b>赤穂大石神社</b> 宮司 飯尾 義明 〒678-0235 赤穂市上飯屋131-7 電話 0791-42-2054 F A X 0791-42-1050</p>	<p><b>服部天神宮</b> 宮司 加藤 芳哉 〒561-0851 豊中市服部元町1丁目2番17号 電話 06-6862-5022 F A X 06-6862-4241</p>	<p><b>四條畷神社</b> 宮司 寺井 種伯 〒575-0021 四條畷市南野2-18-1 電話 072-876-0044</p>	<p><b>大鳥大社</b> 宮司 山本 博之 〒593-8328 堺市西区鳳北町1-1-2 電話 072-262-0040 F A X 072-261-1192</p>	<p><b>大阪天満宮</b> 宮司 寺井 種伯 権宮司 寺井 種治 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-8 電話 06-6353-0025</p>
<p>大和一宮 おおみわ <b>三輪明神 大神神社</b> 宮司 鈴木 寛治 奈良県桜井市三輪1422</p>	<p><b>石上神宮</b> 宮司 森 正光 〒632-0014 奈良県天理市布留町384 電話 0743-62-0900 F A X 0743-63-3124 <a href="http://www.isonokami.jp">http://www.isonokami.jp</a></p>	<p><b>湊川神社</b> 宮司 垣田 宗彦 〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目1-1 電話 078-371-0001 F A X 078-371-1920</p>	<p><b>廣田神社</b> 名誉宮司 中山 隆 宮司 西井 璋 〒662-0867 西宮市大社町7番7号 電話 0798-74-3489 F A X 0798-74-3725</p>	<p><b>生田神社</b> 名誉宮司 加藤 隆久 宮司 六車 勝昭 〒650-0011 神戸市中央区下山手通1-2-1 電話 078-321-3851 F A X 078-321-3853</p>
<p><b>鬮雞神社</b> 宮司 長澤 好晃 〒646-0029 和歌山県田辺市東陽1-1 電話 0739-22-0155 F A X 0739-26-7033</p>	<p><b>熊野本宮大社</b> 宮司 九鬼 家隆 〒647-1731 和歌山県田辺市本宮町本宮1110 電話 0735-42-0009 F A X 0735-42-0753</p>	<p><b>談山神社</b> 宮司 長岡 千尋 〒633-0032 奈良県桜井市多武峰319 電話 0744-49-0001 F A X 0744-49-0236</p>	<p><b>春日大社</b> 宮司 花山院 弘匡 〒630-8212 奈良市春日野町160 電話 0742-22-7788</p>	<p>平成28年4月3日 神武天皇2600年大祭 かしはらじんぐう <b>橿原神宮</b> 宮司 久保田 昌孝 〒634-8550 橿原市久米町934 電話 0744-22-3271 F A X 0744-24-7720</p>
<p><b>美保神社</b> 宮司 横山 陽之 〒690-1501 鳥根県松江市美保岡町美保岡 電話 0852-73-0506</p>	<p><b>太鼓谷稻成神社</b> 宮司 角河 和幸 〒699-5605 鳥根県鹿足郡津和野町 電話 0856-72-0219</p>	<p>出雲大社『平成の大遷宮』 <b>出雲大社</b> 出雲國造・宮司 千家 尊祐 〒699-0701 鳥根県出雲市大社町宮内 電話 0853-53-3100 『平成の大遷宮』は平成28年までお仕え致します</p>	<p>因幡國一宮 うべ <b>宇倍神社</b> 〒680-0151 鳥取市国府町宮下651</p>	<p><b>日前神宮 國懸神宮</b> 宮司 紀 俊武 〒640-8322 和歌山県秋月365 電話 073-471-3730 F A X 073-474-3869</p>
<p><b>金刀比羅宮</b> 宮司 琴陵 容世 〒766-8501 香川県仲多度郡琴平町 電話 0877-75-2121 F A X 0877-75-2125 ホームページアドレス <a href="http://www.konpira.or.jp/">http://www.konpira.or.jp/</a></p>	<p><b>忌部神社</b> 宮司 門家 茂樹 〒770-0928 徳島市二軒屋町2-48</p>	<p>おみくじの(有)女子道社 社主 宮本 史胤 (二所山田神社 宮司) (103期神道学専攻科) 山口県周南市大字鹿野上2898</p>	<p><b>琴崎八幡宮</b> 宮司 白石 正典 〒755-0091 山口県宇部市上宇部大小路 電話 0836-21-0008 F A X 0836-31-9618 ホームページ <a href="http://kotozaki.com">kotozaki.com</a></p>	<p><b>吉備津彦神社</b> 宮司 守分 清身 〒701-1211 岡山市北区一宮1043 電話 086-284-0031 F A X 086-284-0041</p>
<p><b>宇美八幡宮</b> 宮司 伊藤 佳和 〒811-2101 福岡県粕屋郡宇美町宇美1丁目1番1号 電話 092-932-0044 F A X 092-932-0442</p>	<p><b>天満宮</b> 宮司 山中 隆夫 〒780-8012 高知市天神町19-20 電話 088-832-2896 F A X 088-833-7155</p>	<p><b>伊豫豆比古命神社(椿神社)</b> 宮司 長曾我部 延昭 権宮司 長曾我部 昭一郎 〒790-0934 松山市居相二丁目2番1号 電話 089-956-0321 F A X 089-956-3323</p>	<p><b>伊曾乃神社</b> 名誉宮司 葛城 光彦 宮司 堀川 修巧 〒793-0054 愛媛県西条市中野甲1649番 電話 0897-55-2142 F A X 0897-56-4762</p>	<p>靈峰石鎚山 <b>石鎚神社</b> 名誉宮司 十亀 興美 宮司 武智 正人 〒793-8555 西条市西田甲797 電話 0897-55-4044</p>
<p><b>筥崎宮</b> 宮司 田村 靖邦 権宮司 田村 邦明 〒812-8655 福岡市東区箱崎1-22-1 電話 092-641-7431</p>	<p><b>筑紫神社</b> 筑紫の國號起源 宮司 味酒 安志 福岡県筑紫野市大字原田2550</p>	<p><b>太宰府天満宮</b> 宮司 西高辻 信良 〒818-0195 福岡県太宰府市宰府4-7-1 電話 092-922-8225 F A X 092-928-3255</p>	<p><b>高良大社</b> 宮司 竹間 宗磨 〒839-0851 久留米市御井町1 電話 0942-43-4893</p>	<p><b>櫛田神社</b> 宮司 阿部 憲之介 〒812-0026 福岡市博多区上川端町1-41 電話 092-291-2951 (代) F A X 092-281-7180</p>
<p><b>唐津神社</b> 宮司 戸川 忠俊 禰 宜 戸川 健士 〒847-0013 唐津市南城内3-13 電話 0955-72-2264 F A X 0955-72-5029</p>	<p><b>宗像大社</b> 宮司 葦津 敬之</p>	<p><b>宮地嶽神社</b> 宮司 浄見 讓 〒811-3309 福岡県福津市宮司元町7-1 電話 0940-52-0016 F A X 0940-52-1020</p>	<p><b>福岡縣護国神社</b> 宮司 田村 豊彦 〒810-0044 福岡市中央区六本松1-1-1 電話 092-741-2555 F A X 092-751-2759</p>	<p><b>風浪宮</b> 宮司 阿曇 史久 〒831-0016 大川市酒見726-1 電話 0944-87-2154</p>



<p><b>藤崎八幡宮</b> 宮司 岩下 忠佳 熊本市中央区井川淵町3-1</p>	<p><b>高城神社</b> 宮司 菖蒲 公治 〒854-0016 諫早市高城町1-5 電話 0957-22-0650 FAX 0957-22-0650</p>	<p><b>鎮西大社諏訪神社</b> 宮司 池田 剛康 〒850-0006 長崎市上山町18-15 電話 095-824-0445 HP・http://www.osuwasan.jp</p>	<p><b>祐徳稲荷神社</b> 宮司 鍋島 朝倫 〒849-1321 鹿島市古枝 電話 0954-62-2151 FAX 0954-62-2153</p>	<p><b>佐嘉神社</b> 宮司 草場 昭司 〒840-0831 佐賀市松原2-10-43 電話 0952-24-9195 FAX 0952-24-9196</p>
<p><b>鵜戸神宮</b> 宮司 本部 雅裕 〒887-0101 宮崎県日南市大字宮浦3232 電話 0987-29-1001</p>	<p><b>今山八幡宮</b> 名誉宮司 岩切 重信 宮司 伊藤 俊郁 〒882-0055 延岡市山下町1丁目3875 電話 0982-21-4525 FAX 0982-21-3250</p>	<p><b>八幡朝見神社</b> 宮司 神 日出男 〒874-0812 別府市朝見2丁目15-19 電話 0977-23-1408 FAX 0977-22-7598</p>	<p><b>春日神社</b> 宮司 宮本 隆之 〒870-0031 大分市勢家町4丁目6番87号 電話 097-532-5638 FAX 097-532-5473</p>	<p><b>宇佐神宮</b> 宮司 穴井 伸久 〒872-0102 宇佐市南宇佐2859番地 電話 0978-37-0001 FAX 0978-37-2748</p>
<p><b>霧島神宮</b> 名誉宮司 高橋 弘平 宮司 慶光院 利致 〒899-4201 鹿児島県霧島市霧島田口2608-5 電話 0995-57-0001 FAX 0995-57-1990</p>	<p><b>大隅國一之宮鹿兒島神宮</b> 〒899-5116 鹿児島県霧島市隼人町内2496-1 電話 0995-42-0020</p>	<p><b>鹿児島縣護國神社</b> 宮司 野村 浩史 〒890-0014 鹿児島市草牟田2-60-7 電話 099-226-7030</p>	<p><b>宮崎神宮</b> 宮司 杉田 秀清 〒880-0053 宮崎市神宮2-4-1 電話 0985-27-4004 (代) FAX 0985-27-4030</p>	<p><b>島津莊總鎮守 神柱宮</b> 宮司 前田 瑞国 〒885-0025 宮崎県都城市前田町1417-1 電話 0986-23-1395</p>
<p>学校法人 沼田学園 <b>筑波保育医療専門学校</b> <b>筑波総合福祉専門学校</b> 71期政経卒 理事長・校長 沼田 義雄 〒300-0031 茨城県土浦市東崎町8-5 電話 029-821-2264 FAX 029-821-1326</p>	<p><b>学校法人中延学園</b> (朋優学院高等学校) 理事長 佐藤 早苗 (66期) 〒140-8608 品川区西大井6-1-23 電話 03-3784-2131~4</p>	<p>学校法人 豊泉幼稚園 理事長・園長 佐藤 直人 〒252-0321 相模原市南区相模台2-9-4 電話 042-744-1539 FAX 042-744-1550 URL: http://www.hosen-kinder.ac.jp/</p>	<p><b>「院友女性の会」</b> 顧問 佐藤 綾子(57期) 〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷3-15-16 電話 048-962-6365 FAX 048-967-1218</p>	<p><b>照國神社</b> 宮司 島津 修久 〒892-0841 鹿児島市照国町19-35 電話 099-222-1820 FAX 099-226-6650</p>
<p>株式会社マツヒロ 会長 廣井武司 (71政) 代表取締役社長 木村公成 (92経) 〒108-0074 港区高輪1-5-8 電話 03-3441-1123 (代) FAX 03-5798-5848</p>	<p><b>Top Court</b> 株式会社トップコート 代表取締役 植松 正 (79経) 〒225-0013 横浜市青葉区荏田町231-1-422 電話 045-914-7801 FAX 045-911-7810</p>	<p>株式会社協立建築設計事務所 株式会社協立ファシリティーズ 協立管理株式会社 〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目12番14号 電話 03-3542-4492 (代)</p>	<p>株式会社 アルク 相談役 齋藤 大武(76期) 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 電話 03-5360-8010 FAX 03-5360-8020</p>	<p>学校法人 若松学園 <b>小清水幼稚園</b> 理事長 若松 照継 〒099-3622 北海道斜里郡小清水町21-2 電話 0152-62-2607 FAX 0152-62-2884</p>
<p><b>國學院大學瑞玉OB会</b> 会長 鎌田 紀彦 (71期) 副会長 永田 忠以(74期) 副会長 尾崎 忠磨(68期) 副会長 澤井 隆男(81期) 副会長 石川 正人(83期) 〒123-0872 東京都足立区江北2-43-8 江北水川神社事務所内</p>	<p><b>國學院大學生活協同組合</b> 理事長 紺井 博則 専務理事 奥山 政和 (75経) 〒150-8440 渋谷区東4-10-28 電話・FAX 03-5466-0165 URL http://www.kgucoop.or.jp</p>	<p>=創部123周年= <b>國學院大學 剣道部剣友会</b> 会長・師範 鎌田 吉郎 総監督 林田 光弘 監督 村石 浩行 〒225-0003 横浜市青葉区新石川3-31-1 國學院大學スポーツ学寮内</p>	<p>國學院大學久我山 中学高等学校同窓会 <b>久我山会</b> http://www.kugayamakai.com</p>	<p>皆様の変わらぬご支援・ご声援をお願いします。 <b>國學院大學駅伝神職支援会</b> 会長 古屋 眞孝 (55期) (甲斐國一宮淺間神社名誉宮司) 事務局 山梨県笛吹市一宮町一ノ宮1661-1 電話 0553-47-4554</p>
<p><b>和婚スタイル</b> (顧問) 曾川 博之 〒111-0034 東京都台東区雷門2-15-1 デコルテ浅草ビル 電話 03-6231-6008</p>	<p><b>神前挙式専門店</b> <b>三々九度</b> (代表) 曾川 博之 〒605-0001 京都市東山区二町目52-103 電話 075-762-0218 FAX 075-762-0217</p>	<p><b>三和法律特許事務所</b> 弁護士 秋元 善行(86法) 〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-21 京橋NSビル3F 電話 03-3563-0295 FAX 03-3563-0297 e-mail yoshiyuki-a@mue.biglobe.ne.jp</p>	<p><b>河原崎弘法律事務所</b> 〒105-0001 港区虎ノ門3-18-12-301 電話 03-3431-7161 http://www.asahi-net.or.jp/~zi3h-kwrz/</p>	<p><b>薩摩琵琶 晴風会</b> 〒165-0034 中野区大和町1-44-10 会長 山下 晴楓 TEL/FAX (03) 3338-0855 E-mail: y-seifuu@orion.ocn.ne.jp URL: http://www.satumabiwa.com 広報部 75期 金子千草 TEL/FAX (045) 543-0329</p>
<p><b>瀬戸装束店</b> (代表) 山下 裕 〒164-0001 東京都中野区中野3丁目10-5 電話 03-3381-4927 FAX 03-3381-4927</p>	<p><b>伸和印刷株式会社</b> 代表取締役 仲川 和伸 (80期) 〒110-0016 台東区台東1丁目13番6号 電話 03-3833-5651 (代) FAX 03-3831-0994</p>	<p><b>心〇界</b> 石井 岩重 (70期) 石井 岩光 (98期) 石井 敬子 (100期) 石井 岩城 (110期) 新妻 弘康 江川 慎一 (98期) 〒105-0014 東京都港区芝3-18-2 電話 03-3451-4920 FAX 03-3457-0303</p>	<p>宗教法人 <b>神道大教</b> 〒106-0031 港区西麻布4-9-2 電話 03-3407-0524 FAX 03-3407-5655</p>	<p><b>京の和婚</b> <b>『極 KIWAMI』</b> 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町97-1 電話 075-703-3939</p>
<p><b>表千家</b> 新井さきほ (62文) 〒352-0034 新座市野寺3-2-6</p>	<p>(有)ケイメイドインターナショナル 代表取締役 岡澤 研太 〒111-0051 台東区蔵前4-14-4 電話 03-5829-9161 FAX 03-5829-9165 http://www.k-made.jp</p>	<p><b>明治神宮 結婚式場</b> <b>明治記念館</b> 〒107-8507 港区元赤坂2-2-23 電話 03-3403-1171(大代表)</p>	<p>緑豊かな田舎から お茶の間に 日川の完熟桃、完熟葡萄をお届けします <b>宮本農園</b> 宮本 忠彦 (83経) 〒405-0022 山梨県山梨市上栗原863 TEL 0553-22-1866 FAX 0553-22-2027 資料送ります。</p>	<p>NPO：特定非営利活動法人 伝統文化と新しい文明の研究機構 <b>「にっぽん文明研究所」</b> 代表 奈良 泰秀 (69期文) 〒222-0034 横浜市港北区岸根町681 tel 045-481-9361 fax 045-491-7461 http://nippon-bunmei.jp</p>
<p><b>國學院大學</b> <b>院友神職会</b> 会長 松山 文彦 副会長 千家 尊祐 同 吉田 茂穂 事務局 〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1 明治神宮社務所内 電話 03-3379-5511 (代) FAX 03-3379-5519</p>	<p><b>國學院大學</b> <b>若木育成会</b> 会長 高島佳代子 副会長 三竹 俊彦 同 平林 岳 國學院大學総務部校友課内 電話 03-5466-0131 FAX 03-5466-0185</p>	<p>日本舞踊 花川流 六代目 <b>花川梅朝</b> (100文) 〒111-0052 台東区柳橋1-10-5 電話 03-3851-8561 FAX 03-3851-5337</p>	<p>明治神宮名誉宮司 一般財団法人國學院大學院友会顧問 <b>外山勝志</b> (64宗) 〒151-8557 渋谷区代々木神園町1-1 電話 03-3379-5511</p>	<p>(宗)神道新教神宮並びに 椿森神社祭主兼瑞穂大学院院長 及び亀山神宮合祀祭主 國學院大學院友学術振興会会員 祭主 <b>雲丹亀 五郎</b> 〒151-0062 渋谷区元代々木町25-12 電話 03-3468-5967</p>
<p>一級建築士事務所/東京都建設業許可 <b>KIDSPROMOTION</b> 株式会社キッズプロモーション 代表取締役 木津 昭仁 94期 法学部卒 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-16-30 Tel.03-5155-5657/Fax.03-3207-5562 支社/関西 営業所/札幌 さいたま 名古屋 京都 福岡 大型広告 製作事業/媒体事業(マス JR JP 商業施設 動物園)/イベント事業/店舗事業</p>	<p><b>院友会報</b> <b>広告募集</b> 広告を募集しております 詳細は事務局までお問い合わせ下さい。</p>	<p><b>国際問題研究会OB会</b> <b>真野 博(中崎)</b> (61期・本会参与) 〒299-3223 千葉県大網白里市南横川2106 TEL・FAX 0475-72-5686</p>	<p>美術刀剣鑑定・研磨処 重要無形文化財保持者 <b>本阿彌 光洲</b> (70史) 〒145-0064 大田区上池台2-10-17 電話 03-3727-8119 FAX 03-5734-0452</p>	<p><b>船田 君子</b> (67文・本会参与) 〒120-0044 足立区千住緑町2-10-19 電話 03-3881-8210</p>
<p>一級建築士事務所/東京都建設業許可 <b>KIDSPROMOTION</b> 株式会社キッズプロモーション 代表取締役 木津 昭仁 94期 法学部卒 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-16-30 Tel.03-5155-5657/Fax.03-3207-5562 支社/関西 営業所/札幌 さいたま 名古屋 京都 福岡 大型広告 製作事業/媒体事業(マス JR JP 商業施設 動物園)/イベント事業/店舗事業</p>	<p><b>院友会報</b> <b>広告募集</b> 広告を募集しております 詳細は事務局までお問い合わせ下さい。</p>	<p>小唄・端唄 若宮流 <b>若宮三千代</b> (家元) (82期文 中西三千代) 〒357-0037 飯能市稲荷町14-16 TEL・FAX 042-972-3305</p>	<p>鶴岡八幡宮宮司 一般財団法人國學院大學院友会会長 <b>吉田茂穂</b> (73政・74神専攻) 〒248-8588 鎌倉市雪ノ下2-1-31 電話 0467-22-0315</p>	<p>鶴岡八幡宮宮司 一般財団法人國學院大學院友会会長 <b>吉田茂穂</b> (73政・74神専攻) 〒248-8588 鎌倉市雪ノ下2-1-31 電話 0467-22-0315</p>



# お国自慢 支部自慢



**福井県支部**

◎支部長：宮川 脩  
(みやかわ おさむ)  
71神研・75文2・76神専攻

◎事務局：越前市二階  
小泉文仁(仮別専攻)  
◎〇七七八―二八―  
一五三九

**新潟県支部**

◎支部長：武田 英徳  
(ただだ ひでのり)  
80文

◎事務局：新発田市豊町三―七―四八  
青山洋一(107文2・110博前文)  
◎〇二五四―二二―  
三八八八

**新潟のラジオ局 だけど行く?**

**古の名所、みなと敦賀の紹介**

私が住んでいる敦賀市は、古くから天然の良港として知られ、大陸文化の玄関口として栄えた港町です。敦賀港は、往古

「筈飯浦」と呼ばれ、さらに古代日本三大要津のひとつ「敦賀津」として、渤海国や宋国をはじめ大陸諸国との交流拠点として繁栄し、迎賓館・検疫所・貿易取引拠点等を兼ね備えた「松原客館(氣比神宮宮司が検校した)」が置かれ、日本の最先進国際都市でした。

戦国末期から、現在の東北地方や北海道・千島との交易拠点港として栄え「北国の都」と謳われて千石船が往来し、近代以降は、明治三十二年に開港場(外国貿易港)の指定を受けました。其後敦賀とウラジオストク間に直通航路が開通され、日露戦争後は航路の重要性が高まり、政府は敦賀を神戸や横浜などと並ぶ重要港湾に指定。シベリア鉄道を利用して、ヨーロッパの各都市を結ぶ拠点となり、新橋駅(東京)金ヶ崎駅間には欧亚国際連絡列車が運行され「東洋の波止場」として繁栄したのです。



大陸文化の交流拠点・敦賀市

私は山口県に生まれ、大学卒業まで敦賀とは全く縁の無い人間でありましたが、御縁を戴き敦賀市鎮座の氣比神宮に奉職、爾來三十余年が経ち今では全くの敦賀人です。

私は山口県に生まれ、(特に越前かに)の食が楽しみです。

院友の皆様、機会がありましたら一度敦賀にお越し戴ければ幸いです。

福本祐喜(91神2)記

秋晴れの東京のとあるビルの一室。ラジオ番組のオーディションでスタッフから言われた一言。東京生まれの私がイメージした新潟の姿は、小学校の社会の資料集で紹介されていた「豪雪地帯の暮らし」と題された写真でもラジオの世界に憧れていた私は「はい！行きませう」と二つ返事で新潟行きが決定。両親には事後報告。単身乗り込んだその日の新潟は：燃えるような夕日の中で赤とんぼが舞っていました。

あれから十二年。私は現在、新潟のFMラジオ放送局、「FM PORT」に勤務しています。

学生の頃は深夜のラジオ放送を聴きながら、勉強もそっこのけで笑った。移動の車中でDJのおしゃべりを楽しんだり、地震などの災害時にはラジオの音の聞こえ方として必要情報を送ったりとラジオは身近なメディアとしていつも近くにいてくれる大切な存在です。

今は営業部に所属しながらの前の前は離れてしま

「FM PORT」はこれからも地域密着のラジオ局として、新潟の旬な話題をどんどんオンエア。あなたも79・0メガヘルツ「FM PORT」を今すぐチェック！

遠藤洋次郎(106哲)記

資格を取ることも出来ないし、高校二年の時、冬祭りをしながら國學院大學進学を決意。幸い地方の方々の厚意で、翌年から笛を吹かせていただいたという。

大学入学後、茂木栄先生との出会いから「神と人」「杜と人」との捉え方に共鳴し、「熊谷家伝記」を読み深め、卒論テーマとする。

もう一つの出会いは、大学二年の時、当時総務部長であった長野県出身の大村秀司(81法)母校常務理事から「学内で県人会を立ち上げてみないか」とのお話から年数回の集まりと若木祭では、故郷の郷土料理「五平餅」を出店した。

卒業後、大学職員として

**長野県支部**

◎支部長：佐々木 章  
(ささき あきら) / 79史

◎事務局：長野市安茂里七九五六  
齋藤英之(95神・97博前神)  
◎〇二六―二三―  
七五八〇

**坂部の湯立神楽に魅せられて**

落人の郷、信州の南端愛知静岡県境の天龍村坂部に佐野実希子(17神文) 女史は、生まれ育つ。便利さから隔絶され今も古い文化・六百年以上も続く国の重要無形民俗文化財湯立神楽に強く憧れ、女性である自分が祭りに参加できるのは、神職の



佐野実希子さん

て、小川直之(83文)先生に出会うことができ、その人柄に心酔し、いつかふるさと坂部にとつて価値ある人間になりたいとの強い思いを感じさせられる頼もしい院友である。

結婚し、専業主婦をしていたが、子どもの手が少し離れた現在、月二回の稽古に坂部に帰ってきてくれている。今年小川先生の講演を聞き、また飛び入りで懇親会にも花を添えてくれた。

来年の支部総会が今から楽しみです。

佐々木章(79史)記

**静岡県支部**

◎支部長：秋津 温  
(あきつ おん) / 85文

◎事務局：三島市大宮町二―一―五  
三嶋大社  
鈴木成年(14神専攻)  
◎〇五五―九七五―  
〇一七二

**地域の活性化をめざしての映画制作**

今回紹介するのは静岡県東部支部長四年目の秋津温(85文)さんです。先生は地元元の高校の教員を平成二十六年三月に定年退職され、当支部



秋津 温さん

まず手始めとして平成二十六年度「いざ、出陣の巻」というショートムービーが完成しました。そのプロジェクトチームに秋津温支部長の教え子たちが多数参加して、彼らの誘いに応じてこの活動に加わったそうです。

その第二弾として本格映画「恋う」でも俳優兼スタッフとして撮影に取り組み夏の撮影十七日を終了し、現在は冬の撮影の準備中。映画は平成二十八年六月に完成、全国ロードショーを予定しています。

映画のテーマは昭和の三島の「家族愛」で、三島から生まれた日本を代表する映画をめざし、現在国際映画祭へのエントリーの準備もしているとか。秋津温支部長は「まさか六十才を過ぎて映画制作という新しい出会いと若手のエネルギーの逞しさに敬服しながら元気よくやっています。」ということでした。

是非映画館で鑑賞してください！

鈴木成年(14神専攻)記

**静岡県支部**

◎支部長：天野 忍  
(あまの しのぶ) / 80史

◎事務局：静岡市駿河区根古屋三九〇  
久能山東照宮  
仁科泰彦(89神2)  
◎〇五四―二三―  
二四三八

**要人**

この度は、静岡県中部支部で支部長の右腕とも言える事務局をお務めの仁科泰彦さんをご紹介します。

仁科さんは、徳川家康公を祀る「久能山東照宮」の地元及び関係自治体・企業を始め諸団体が一体となり祭典他、諸事業を見事に完遂されました。



仁科泰彦さん

皆様ご存知の通り「久能山東照宮」は、平成二十七年に御鎮座四百年の記念の年を迎えました。「家康公四百年祭」として地元及び関係自治体・企業を始め諸団体が一体となり祭典他、諸事業を見事に完遂されました。

若原久雄(90神)記

**静岡県支部**

◎支部長：河合 宏昭  
(かわい ひろあき) / 77法

◎事務局：浜松市天竜区春野町領家八四一  
秋葉山本宮秋葉神社  
原山剛一(105神)  
◎〇九〇―二六―  
一一〇七六

**私の教育論**

教育界で活躍されている多くの院友に、このようなたイトルで書くことに恐縮しておりますが、四十七年間の教育経験で学び感じたことをお伝えできればと思ひ拙文を書きます。

昭和四十四年に県立農業経営高校その後浜松湖東・磐田南・浜名高校で教諭として教鞭をとり、県立三ヶ日青年の家指導



河合宏昭さん

宮の地元である静岡市駿河区安居のご出身です。現在、同宮欄宜を拝命し日々神勤めに励まされると共に当支部の事務局として天野支部長の指導の下院友会発展のため、日々尽力戴いております。

この様に仁科さんは、神様奉仕でも院友会活動でも常に「かなめ」となっております。

余談になりますが、仁科さんのご子息徳将君(119神文)は、現在富士通陸上部所属は、第八十七回東京箱根間往復駅伝競走(箱根駅伝・平成二十三年一月開催)の際、陸上競技部主将として往路五区で六人抜きの快走をみせ、我が國が初めてシード権を獲得することに貢献されました。

登校生徒等の就学の間という側面が多くあり、教育環境の大きな変化を体験すること等、多々ありました。

時代と共に教育に対する考え方、環境等は大きな変化をしていますが、教育の原点は教師対生徒、生徒対生徒、つまり人と人とが交わることは万古不易のものであると思います。

心と心の交流なくして教育は存在し得ないというのが、私の経験を通しての結論です。

河合宏昭(77法)記



### 愛知県支部



◎支部長：野中 昌介  
(のなか・まさすけ)  
72文

◎事務局：名古屋市瑞穂区高田町三二一八  
一  
名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校  
水野敦之 (96文)  
◎五二一八五三一  
〇〇五〇

### 高校生らを見守り 伴走する社会科教師

愛知県内の高校生らが平和を願って自転車リレーでカンテラの火を運ぶ「高校生自転車リレー」が、戦後七十周年の今夏実施された。東日本大震災のれきからおこ

した火と、広島市の平和記念公園にある「平和の灯」を移したカンテラを、高校生約五百十人が交代で自転車をこぎ、宿泊地で各地の高校生と交流会を開いたり戦争経験者の話を聞いたりしながら、約千五百キロを走破した。名古屋経済大学高蔵高等学校に社会科教師として勤務する野澤直仁(113史)先生は、そうした生徒たちの安全・健康面をサポートすべく伴走した。他校の引率教諭と相談しながら、休憩地点の確保、宿泊先の手配、マスコミ対応等をしなが



教え子たちと一緒に自転車をこぐ野澤直仁さん

人たちと出会い、人とつながることの大切さを学び、戦後七十周年の節目に平和を語り継ぐ難しさや大切さを感じたのではないかと、野澤先生は生徒たちに語りかけた。常に生徒たちと汗まみれになっ

水野敦之 (96文) 記

### 三重県支部



◎支部長：塚原 徳生  
(つかはら・とくお)  
87神專攻

◎事務局：伊勢市宇治館町一  
神宮司庁  
孫福弘明 (91神)  
◎五九六二二四  
一一一

### 市役所職員から いなべ市議会議員に 転身

平成二十三年に十五年間奉職していました「いなべ市役所」を退職し、「いなべの可能性を広げ、保障し、いなべの力を本物の力にしたい」とそんな思いで、市議会議員補欠



清水隆弘さん

選挙に挑戦し、多くの皆さまからのお支えをいただき、当選をさせていただきました。政治家には行動とそれを支える揺ぎない信念が求められます。先人が築いてきた伝統、文化、歴史に学び、故郷いなべを次世代にきちんと継承していく。そう、それは過去と未来への責任です。

そして故郷いなべを誇りに思い、笑顔があふれるいなべへと導く、そこそが、私の政治理念の根幹です。私は明治維新以降の(先の大戦後も然りです)日本の最大の過ちは

過去を否定したことにあると思っています。あまりに欧米の真似をしすぎました。日本固有の風景が失われ、どこに行っても同じ景色が広がっています。いなべにはいなべの歴史があり、風土があり、文化があるはずなんです。私にはこの政治理念と地域に根ざした行動で、いなべの魅力をごんどの引き出してまいります。このいなべは「誰かのいなべ」ではなく「誰かのいなべ」です。「誰かの日本」ではなく、「私たちの日本」なのです。私のキャッチフレーズは「温故知新」です。國學院大學の建学の精神を胸に、今後も鋭意努力いたします。清水隆弘 (104) 経 記

### 滋賀県支部



◎支部長：岳 尋幸  
(おか・ひろゆき) / 66  
宗

◎事務局：彦根市尾末町一五九  
滋賀縣護國神社  
山本賢司 (78史・79神專攻)  
◎七四九二二二  
〇八二二

### 郷土の先人を おもひ心

平成二十七年は戦後七十周年の節目の年であった。安倍首相の「七十年談話」もあり、各地では、英霊の慰霊祭が廣行され、各自心からなる感謝の誠



山本賢司さん

を捧げ、慰霊と報恩の意志表明、又向後の平和を祈念された事であろう。滋賀縣護國神社では、去る十月五日に、恒例の秋季例祭に併せ、畏き迎りよりの幣帛料を奉り終戦七十周年臨時大祭が、例年に増しての多数の御崇敬者参列の裡、厳肅に執り行われた。宮司は山本賢司 (78史・79神專攻) 氏である。長い間、院友会滋賀支部事務局長を続けて頂いており、現在

は滋賀県神社庁副庁長他、多くの役職を兼任されている。氏は、終戦五十周年記念出版された「滋賀県内忠魂碑・慰霊碑等調査集」に、英霊の祭りごとに終わりのある筈がなく、郷土の偉勲のある先人として祭りを継続することの意義が十二分に理解されているだろうか」と嘆いておられる。

私達は今一度、見直し・聞き直し・省みる必要があるのではないかと、山本賢司先輩の、更なるご活躍とご健勝を祈念して、筆をおく。  
大木伸二 (84神2) 記

### 大阪府支部



◎支部長：北島 孝昭  
(きたしま・のりあき) / 82神

◎事務局：大阪市北区天神橋二一八  
大阪天満宮  
米村昌彦 (92神專攻)  
◎六六三三三三  
〇〇二五

### 天満宮辺り

大坂は太閤さんが築城し武士商人や職人が集まり、芝居小屋や、米相場がたち、蔵屋敷、両替商が連なる天下の台所。天満宮の産物が「青果物取引市場」に集まって食



「天満の天神さん」で親しまれている

太鼓笛のオーケストラに幟旗や提灯を掲げた何百艘に、精姿、紋付姿の正装の男たち、ご婦人たちは綺麗をこらして粧い、舟上で舞う女人たちを絢爛豪華に真信は描いている。この財力が町人の心意気であり、信仰の余勢でもある。中心は天満宮。上方文化の一端「連歌所」が常設され、連歌会が日常的に行われていた。この連歌所の宗匠に談林派の「西山宗因」が座って大坂の文学が蕾をつけたといえそう。鬼貫、芭蕉、惟中や西鶴、後に近松も影響を受けたと思考する。芭蕉の「軽み」破天荒な西鶴の大矢数、浮世草子のテーマとテンポ。西鶴の世話物に重ねて近松の浄瑠璃の



上方落語の定席「天満天神祭亭」

題材に文楽。さらに、彦八の落語の土壌がで、今では「繁昌亭」なる常設の小屋掛り。お江戸の頃の「大坂の財力」と「天神祭」談林「連歌」のコラボを生み出したのが「大阪天満宮」ということになるか。まあ一度来て見なはれ。  
山本洋治 (69文) 記

### 京都府支部



◎支部長：中村 陽  
(なかむら・あきら) / 76神專攻

◎事務局：京都市伏見区深草藪ノ内町六八  
伏見稲荷大社  
井上 了 (88神)  
◎七五一六四一  
七三三二

### おこしやす、京都へ

京都和食の世界遺産登録や祇園祭の復活、また琳派四百年や京都国際映画祭と注目される話題も多く、世界の観光都市ランキング第一位にも選ばれるなど、国内外から注目を集め、現在、過去最高の賑わいを見せています。京都は古くから日本文化の中心地であり、

今なお我々の生活の根底を流れる伝統を受け継いでいるからこそ、これだけ世界の注目を集めているといえます。「日本を探索し、世界に向けて発信」を目指す國學院大學の姿勢を学んだ我々が、この国際社会の中で日本の良さ、日本文化を継承し、伝えていくことの重要性を改めて認識させられます。本年度も京都府支部では中村支部長をはじめ、百余名の出席のもと、盛大に総会が開催されました。多くの院友一人ひとりが母校の精神を胸に「お・も・て・な・し」の心を世界へ発信続けていけば、その力はより大きなものになると思われます。



27年度支部総会

皆様に建学の精神を心の隅に思い起こして、是非とも京都へおこしやす。支部事務局・記

### 院友経済会



◎会長：大塚 勤  
(おおつか・つとむ) / 74政

◎事務局：渋谷区東四一〇一二八  
國學院大學  
総合企画部  
橋本憲市郎 (88経)  
◎三二五四六六  
〇八〇五

### 大空へ

卒業後、自社養成パイロットとして入社した私は、翌一九九二年(平成四年)一月アリゾナ州グレンデール飛行場で初の単独飛行に挑んだ。その日を迎えるまで米国人教官の指導の元、約二十時間の飛行訓練を積み、初めて自分一人の力で飛ぶ試験に特別な思いで臨ん



松井真徳さん

だ。離陸前準備を訓練通り行い、緊張と大きな喜びを抱きながら離陸滑走路へ向かったあの時の興奮を二十四年経った今でも忘れられない。天候は快晴。風は無風。管制塔より「Cleared for takeoff」の許可を得るとエンジンを開全に離陸滑走を開始した。そして瞬く間に離陸速度に到達すると操縦桿をそっと引いた。ふわりと大空へ舞い上がった喜びを感じ始めたその直後、ドーンという大きな音と共に閉めたはずの扉が開いた。扉を叩く風切り音で管制官との交信が聞こえない。

しかし冷静に対処し、いつも通りの手順を踏み無事着陸。ほろ苦い単独飛行を終えた。それから数々の訓練や審査を仲間と積み重ね、現在は全日本空輸株式会社(B787型機の機長)として乗務に就いています。これも國大バレー部時代、勝利を目指し仲間と切磋琢磨した時の思いが機長という仕事の礎になっっています。上空から数々の世界の街を目にして参りましたが、私は日本がとても美しく心落ち着く、一番の国だと思っています。その「国の基を究むる」ところ」國學院で学び沢山の方に支えて頂いた感謝を胸に、これからもお客様の安全を守り、快適に目的地へ定時到着出来るよう、一便一便邁進して参りたいと思います。  
松井真徳 (99) 経 記







鳥取県支部

報告

### 故郷の偉人顕彰 『明治維新における門脇重綾の功績』



ユネスコ無形文化遺産「佐陀神能」(境港市文化ホールにて)

平成二十七年年度國學院大學院友会公益事業を去る八月二十一日(金)に、境港市で開催した。当日は朝から雨模様で、聴衆が集まる心配したが、百八十名も集まって頂き感謝感謝。講師の武田秀章教授は、学生時代から何度も当地に足を運ばれ「明治維新の神道史」を研究されており、予定の講演時間を過ぎての熱弁でした。

講演内容は事前に送って頂き、併催した「遺品展(境港市文化財)の写真集と併せて配布いたしました。講演会の後、ユネスコ無形文化遺産の「佐陀神能」(松江市、当市で初めての上演に、聴衆は國學院大學の素晴らしい

を改めて認識しました。今回の講演会には、鳥取県教育委員会・境港市教育委員会・日本海新聞社・山陰中央新報社・ケレビの中海テレビの後援を頂き、重綾出身の地域には全戸(千八百世帯)にチラシを配布しました。最後に「佐陀神能」の上演にあたり、鳥根

県の青木支部長に大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。なお当日の資料を希望される方は、院友会までご連絡ください。先着五十名様当日の資料を送りいたします。門脇紀文(71政)記

門脇重綾の功績について語られる武田先生

**著書 紹介**

## 戦国貴族の生き残り戦略

岡野友彦(92史・94博前史・97博後史)著

戦国時代を生き抜いたのは、戦国武将や一揆の民衆たちだけではなかった。撰家次に次ぐ家格である清華家の一つ、久我家書に光を当て、生き残りながら戦国貴族の苦悩をかけた壯闊経営の実態などから戦国貴族の苦悩

としたたかさを読み解く。これまで重視されてきた文化的側面ではなく、経済的側面から戦国貴族の実像を浮き彫りにする注目の一冊です。

発行所 樹吉川弘文館  
定価 一、八三六円(税込)  
平成二十七年五月刊

## 先生! 子どもが元気に育っていますか?

淡路雅夫 著

著者は神奈川県私立浅野中学・高等学校の校長として長きに亘り学校経営に手腕を発揮され、現在は「淡路子育て支援教育研究所」を主宰なさっている。

教育界で活躍なさっている著者ならではの、広く深い視点で社会や教育界に対する鋭い問いかけや提言がなされている。著者が強調している点を挙げると、「社会の変化に対応した教育の転換」「子どものしかり方」「私学の建学の精神の現代化」「成績だけに止まらない、目に見えない学力

人間のあり方生き方と、教育の関わりを論じた教育界や社会に一石を投じる著書である。教育関係者のみならず多くの方々にぜひ一読をお勧めしたい。

橋本喜一(79文2)記

発行所 グローバル教育出版  
定価 一、六二〇円(税込)  
平成二十七年三月刊

### 出雲尼子一族

米原正義(62史・64修史・67博史)著



出雲守護代から力を蓄え、一代の英傑経久の時に下剋上して十一カ国を制した尼子氏。その発展の過程と、大内・毛利氏との全面戦争、山中鹿介らの奮戦むなしく滅亡するまでの歴史を、軍記物の虚像を排して描いた名著です。

是非一読ください。

発行所 樹吉川弘文館  
定価 二、三三六円(税込)  
平成二十七年七月刊

鳥取県支部

報告

### 文化講演会 『民俗学からみる慰霊と追悼』

平成二十七年八月一日(土)、出雲市の「ニューウェルシティ出雲」で文化講演会・支部総会が開催された。平成二十七年は、あの悲惨な戦争が終わって七十周年の節目の年であった。そこで、日本人は先祖のことをどのように考え、どのようにまつてきたのか、過去・現在・未来の枠組みで考えてみようということで、國學院大學教授の新谷尚紀先生に「民俗学からみる慰霊と追悼」という講演をしていただいた。



死についての様々な概念を平易に説いてくれた新谷先生

院大以外にはないという国男・折口信夫らの主導によって日本で創生された学問で、「民俗伝承学」(traditional history)というほうがより適切であるという。一九四〇年に國學院大學に初めて設置されたもので、現在では「博士(民俗学)」の学位を授与できる大学院は、國學院大以外にはないという。孟蘭盆会については諸説あるなか、一般的にはサンスクリットのウランバナ(Ulambana)の音訳とされるが、そのような語はサンスクリット語にはないという。容器の益に食物をお供えして親の御霊まつりを行い、生命力を強くする盆供養が基本ではないかと思われる。死は事実ではなく概死者(先祖)に対する

念である。動物は死を理解できず墓を造らないが、ホモサピエンスは死を発見した唯一の種であり墓をつくる。死の発見は宗教の誕生でもあるという。死に対する文化は社会によって異なる。日本では慰霊された御霊は神や仏になるが、欧米では死んだ人は死んだ人。供養という観念は欧米にはなく、フランスでは死者に食物をお供えない。死者のことを忘れて覚えていること(memoria)を重視し、追悼行事が行われる。日本では「安らかに眠ってください」というが、フランスでは「二度と戦争はしない」との感情を言うことは死者への冒瀆とされ、事実のみを語るという。

死者(先祖)に対する

- ◆ 訃報 ◆**
- 野々村千城氏(ののむら) たてき/59文・63修文/元岐阜県支部長) 平成二十七年四月五日逝去。喪主は真藤様(ご子息)。
  - 堀内正文氏(ほりうち) まさぶみ/64文/元静岡県支部長) 平成二十七年七月十四日逝去。喪主は悼子様(ご令室)。
  - 高藤昇氏(たかふじ)のぼる/52学国史/本会元常務理事・元母校事務局長) 平成二十七年七月七日逝去。喪主は山中和香子様(ご令嬢)。
  - 鳴田一郎氏(なみた) ちろう/73政/元母校総務部長) 平成二十七年七月二十八日逝去。喪主は喜代子様(ご令室)。
  - 山道泰久氏(やまぢ) やすひさ/63神研2/前広島県支部長) 平成二十七年七月二十九日逝去。喪主は元様(ご子息)。
  - 山本景英氏(やまもと) みつてる/推/母校経済学部名誉教授) 平成二十七年八月十六日逝去。喪主は一雄様(ご子息)。
  - 三矢正且氏(みや) さかつ/推/元母校図書館副館長) 平成二十七年八月二十七日逝去。喪主は喜代子様(ご令室)。
  - 豊島笑子氏(とよしま) えみこ/67文/前秋田県支部長) 平成二十七年十月二十三日逝去。喪主は知央様(ご令嬢)。
  - 高橋恒雄氏(たかはし) つねお/71文/前秋田県支部事務局長) 平成二十七年十一月十三日逝去。喪主は郁雄様(ご子息)。
  - 小倉基氏(おぐら) もとい/62政/本会評議員・母校参与・元渋谷区長) 平成二十七年十一月十九日逝去。喪主は克城様(ご子息)。

◆ 謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご生前の本会へのご尽力に感謝申し上げます。

**新年 謹賀**

学校法人國學院大學栃木学園

理事長 木村好成  
事務局長 小藤清

〒328-8588  
栃木市平井町六〇八  
電話 〇二八二-二二五五一

学 長 中村幸弘  
学 監 木村好成  
学 監 酒寄雅志  
人間教育科長 後藤正人

國學院大學栃木短期大学  
國學院大學栃木高等学校  
國學院大學栃木中学校  
國學院大學栃木二杉幼稚園

園 長 栗原和子





### 木村ゼミ卒業生の会「木窓会」開催

國學院大學政経学部木村太郎先生ゼミナール卒業生の会「木窓会」の会員は、毎年先生の命日である七月十一日(土)に大学に集まり、研修会・総会・懇親会を開催している。

今年は、木村先生の十回忌の年にあたり、墓

### 木下良先生を偲ぶ会

平成二十七年一月二十六日にご逝去された國學院大學元教授木下良先生を偲ぶ会が、九月十三日(日)午後二時から若木タワー18階有栖川宮記念ホールにて開催された。

当日は、歴史地理学や日本古代史、考古学を中心とした文学部史学科の教員・OBのほか、交通史学会、古代交通研究会といった全国学会の関係者など、五十名を超える方々が、北は北海道、南は福岡・長崎から駆けつけてくださいました。

会では、献花ののち、鈴木靖民名誉教授(古代交通研究会会長)による開会の言葉と、献杯を行い、弟子を代表して木本雅康長崎外国語大学教授(94史・96文・98博前文・101博後文)が年譜を、



充実した最高の1日を送ったメンバー

参を兼ねての会となった。午前十一時に西日暮里駅に集まり谷中の霊園を訪れ、先生の墓前で全員が黙とうを捧げた。その後

中村太一(北海道教育大学教授(96史・100博前史)が全国から集めた写真を、それぞれ紹

大学に移り國學院大學博物館の見学を行った。博物館の見学は、研究開発推進機構の内川先生ならびに学芸員から詳しい説明を受けた。また、井上毅の特別展が開催されていたので、古山図書館次長さんからも詳しい説明を受けた。見学終了後は、大学食堂「和」に場所を移し、窓越しに見える学生の姿を見ながらの懇親会となった。

しばし学生時代にかえり、懐かしい思い出とともに楽しいひと時を持つことができた。約二時間の宴もあつという間に終わる、来年もまた大学に集まることを楽しみに散会となった。

二次会では、渋谷の夜を堪能した。國學院大学の移りゆく姿の見学または参加者全員の健康の確認等で充実した最高の一日であった。

國學院大学のますますのご発展を祈りご報告とします。

郡司昭明(75経)記

### 飯塚重威先生ゼミ18期生同窓会

私たちは、國學院大學経済学部を昭和四十八年に卒業した81期生です。在学中は、今は亡き飯塚重威先生のゼミナール18期生でした。有田焼や丹後ちりめんの在来産業の実態調査を研究しました。飯塚先生は昭和二十四年から昭和六十年十二月まで教鞭をとられていたそうです。飯塚先生は優しい人柄でしたが学問にはとても厳しかったです。私たち18期生(女性二名を含む十四名)の会が今まで長く存続出来ているのも先生のお蔭と感謝しております。

### 「学友の会」開催

今年度は八月十九日・二十日の日程で北海道で開催した。

北海道は、広いぞでつかいぞ、ということで開催地の選定に悩んだが、百年の歴史と大自然を有する秘湯・支笏湖の湖畔の丸駒温泉で開催した。

参加者十四名は新千歳空港に集合し、先ずは苦小牧の樽前神社を正式参拝した。生憎の雨天も職員の方々の温かいご配慮に感謝を申し上げます。

懇親会場であるこの温泉は、秘湯というだけあって湖水に手が届くような湯ぶねは格別なものがあつた。同朋の物故者への黙祷を捧げた後、校歌を斉唱し、胸襟を開いた懇親会は各自の近況報告から始まり、一人三分という制限が守られることがなく、北海道の美酒に酔う程に能弁となり、僅

今回は、六月二十八、二十九日で仲間の一人が勤める豊橋市のシーパレスリゾートホテルで開催しました。同期会の菊川市長太田氏も就寝時間を割いて顔を見せてくれました。呑んで語って、おおいに歌って大変楽しい時を過ごすことが出来ました。お互い六十五、六歳になりましたが、すぐに学生時代に戻れます。今回は十二名の出席でしたが次回は全員の参加を目指したいです。

今を学ぶ学生諸君たちも、どうか有意義な学生生活を過ごしてください。國學院大学の益々のご発展と院友皆様のご健勝を祈念します。



シーパレスホテルの前で全員集合

七月二十五日(土)に院友会館において、現在は廃寮となつていますが学寮「元石川寮」の同窓会を開催しました。

この同窓会は寮生にとつての、人生の師であつた佐藤英一寮監が早逝されて一年後の平成四年(この時は幕前で一年祭も斎行)から始まり今年で六回目を迎えています。今回は昭和四十六年から昭和五十四年までの在寮生二十二名が、青森から長崎までの十六都府県から集まり、寝食を共にした学生当時に戻って旧交を温めました。

岩切信一郎氏(81神・83修神)の開会挨拶に始まり、畑進氏(82法)の乾杯の後は、それぞれ無理がきかない体ながらも在寮時に戻つたように飲み、昨日のことのような思い出語りや聞きながら三時間余りという時間があつという間に過ぎていきました。

先輩から厳しく指導されて覚えた校歌・応援歌・道遠歌を懐かしく歌い、また今回の同窓会に皆で元気な顔を合わせることを約束して、石橋丈夫氏(84史)の閉会の辞で終了しました。

それぞれに在寮の時期・年度は違つても、元石川寮という独特な環境で一緒に生きたことへの同窓意識が四十年近くの時を経た今でも瞬時に甦るひと時でした。今回開催に際し、十二名の宿泊を含めいろいろのご配慮賜りました院友会館職員の皆様にも心より感謝いたします。

なお、今回の同窓会案内は、昭和四十五年から五十二年までの在寮生で幹事が住所を把握している五十七名にのみ送つておりますので、次回以降の「元石川寮」同窓会に関するお問い合わせは次回幹事の幸田真人さん(83文 千六〇一〇〇七七 兵庫県尼崎市大庄西町一―四―二五グリーンハイツ武庫川3D)迄お願いします。

富田剛史(86法)記



木下先生の奥様といっしょに(若木タワー18F 有栖川宮記念ホールにて)

介して先生の足跡をたどりました。そのうえで、地理学研究室の後任である林和生教授をはじめ、地理学や交通史などの分野で交流があつた五名の方々からお話をいただき、展示された遺品の数々とともに、在りし日の先生のお姿を偲びました。そして、そのお話などから先生のお話などから先生のお人柄が彷彿としてまいりました。

最後に、ご令室の木下達様に花束とアルバムを贈呈し、発起人を代表して佐々木慶一古代交通研究会副会長がお礼を申し上げ、山本光正交通史学会会長による閉会の言葉をいただき午後五時に閉会しました。

なお参加者と献花者には、先生の著作目録や年譜、写真などを掲載した小冊子を配布させていただきました。

中村太一(96史・100博前史・103博後史)記



今回は北海道で開催した学友の会

方領士の現況や、福島の能沢氏から、震災復興の現状、また石川の加藤氏から北陸新幹線の開通による金沢の賑わい振り等が報告され、皆の関心を寄せるところであつた。北の大地の夜が更けるまで宴が続いたことは記すまでもない。

翌日、北海道神宮を参拝した後、スキージャンプの大倉山展望台に登り、あの高梨という乙女がこの急斜面を飛び、世界に名を馳せ高めたことに感動した。そしてクラーク博士像が建つたさっぽろ羊ヶ丘公園で北の幸・ジーンギスカンを囲み、別れを惜しみつつ明年の秋田での再会を楽しみに散会し、各々が南方へと飛んで行った。

因みに年齢が七十(一年の誤差あり)の古希に近くなつたが、まだ先は傘寿・米寿とある。お互いに体調に留意して母校の如く百歳を越えたいものである。



校歌・応援歌・道遠歌などを肩を組んで歌った仲間たち(院友会館4F大広間にて)

猪俣瑞彦(75神研)記



# 以 國學院 ふおめえしよん

## ▼展墓

十一月一日の創立記念祭に先立ち、十月二十九日午前中、坂口吉一理事長、赤井益久学長、院友会今井副会長ほか母校役員による展墓(※お墓参りのこと)が行なわれました。

豊岡岡御墓所では、皇典講究所初代総裁有栖川宮職仁親王墓と高松宮宣仁親王・同妃喜久子墓を参拝。そして護国寺では、皇典講究所初代所長山田顕義伯の墓に参拝しました。

## ▼観月祭

十月十七日午後四時から、渋谷キャンパスで観月祭が執り行われました。第六回となる今回は、朝から降り続いた雨の影響で、今年五月に竣工したばかりの百三十周年記念五号館のピロティでの開催となり、八百人



護国寺、山田顕義伯の墓前にて

を超える方が集まりました。学生たちは六月から稽古を始め、当日四ヶ月間の練習の成果を披露しました。

献供の後、管弦、祭祀舞、舞臺が披露され、厳かな中に雅を含めた観月祭は一時半ほどで終了しました。

## ▼院友子弟の入試状況

平成二十八年年度入試も推薦入試・特別選考入試がいよいよはじまり、院友の子弟を対象とした「院友子弟等特別選考入試試験」の募集も行いました。

この特別入試試験は、本学への入学を第一希望としている、院友会の会員の二親等以内の親族(配偶者・姻族含む)を募集資格とした入試制度です。出願の締め切った九月二日までに、昨年度より三人少ない六十三人の出願がありました。書類選考の第一次選考合格後、本学キャンパスで実施された第二次選考を受け、合格が確定しました。

詳しくは大学ホームページもしくは入学課にお問い合わせください。

## 史学科卒、三先生の活躍

都内の公立学校に勤務している史学科卒業の三名の院友の先生方が、高校、中学の教科書の執筆に携わって活躍をされております。

国語科の教科書には以前から多くの方が携わっておられました。社会科や地歴科の教科書では初めてのことでないかと思えます。90史の川瀬徹先生、94史の中家健

## 秋田県支部総会開催

平成二十七年九月十一日(土)に県支部総会が秋田市内のイヤタカで開催された。

今回は大曲出身で現在、神道文化学部教授で学部長の武田秀章先生をお迎えして公開講演会を開催した。演題は「古事記に学ぶ」で、先生は古事記に登場する数々の神を

紹介し、その人物像、物像、人物品、壯大観をお話された。

一般の出席者も多数あり、熱心にメモを取る様子が見られました。講演会終了後は、総会が行われ、議事等はすべて承認された。また、役員人事も提案され、支部長代行であった富

先生が高校の教科書を、93史の関裕幸先生が中学の教科書を、それぞれ執筆されました。他大学には無いことと思います。

都内公立学校のこの三名の先生方のことだけでなく、全国各地で、さまざまなお立場でご活躍されておられる院友の先生方が沢山おられます。みなさまの一層のご活躍を祈念の方々、三名の先生の情報を送らせていただきます。

加藤直道 (70史・80修史) 記



秋田県支部総会、イヤタカにて

## 院友の著書紹介

院友の皆様から、多くの著書をご寄贈いただいております。心より御礼申し上げます。今回は平成二十七年四月からの分を掲載させていただきます。

- 日④六百三十円
- 鶴が音通信一・二／平成二十七年三月十五日・五月十日④非売品
- 渋谷らしさの構築①田原裕子・國學院大學研究開発推進センター渋谷学研究会②雄山閣③平成二十七年二月二十八日④三千四百円
- 詩集 オディッセアス エリテイス詩集①東千尋(67哲)②土曜美術社出版販売③平成二十七年四月三十日④三千元
- 三井美術文化史論集第八号①公益財団法人三井文庫三井記念美術館③平成二十七年三月三十一日④非売品
- 入り婿侍商い帖 関宿御用達①千野隆司(82文)②株KADOKAWA③平成二十七年五月二十五日④六百円
- 歌集 朱夏峠①宮田宏輔(99文・102博前文)②株KADOKAWA③平成二十七年五月十日④二千六百円
- 栗原潔 歌集 子らととも①栗原潔(75文)②本阿弥書店③平成二十七年五月十九日④二千七百円
- 楚辞後話全注釈①吹野安(64文)・宮内克浩(94文)・96博前文・99博後文)②明德出版社③平成二十七年七月十五日
- 楚辞後話全注釈①吹野安(64文)・宮内克浩(94文)・96博前文・99博後文)②明德出版社③平成二十七年七月十五日
- 甲斐古代豪族の系譜 塩海宿禰から塩田長者へ①森和敏(68史)北村千鶴③平成二十七年九月四日④六百九十四円
- 特別展「蔵王権現と修験の秘法」図録①②三井記念美術館③平成二十七年八月二十九日④二千三百円(税込)
- 句集 観世音菩薩①石井保(72文)②株ウエップ③平成二十七年八月十日④二千七百円
- 竹洞庵吟詩集 命燃ゆ①二ノ宮國竹(本名二ノ宮哲夫/80文)③平成二十六年七月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の二 風木①二ノ宮國竹③平成二十六年十月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の三 鐘の音①平家物語・全章段詩①二ノ宮國竹③平成二十六年十二月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の四 ぶなの連理①二ノ宮國竹③平成二十七年五月吉日
- 間中一代さんの栃木語り①野村敬子(69文)・霧林安道(93文)②瑞木書房③平成二十七年十月十五日④二千五百円
- 雇われ師範・豊之助めか喜び①千野隆司(82文)②株双葉社③平成二十七年十月十八日④五百九十三円
- 入り婿侍商い帖 関宿御用達(二)①千野隆司(82文)②株KADOKAWA③平成二十七年十月二十五日④六百円
- FESTIVAL NTE 1・2①長屋晃一編(113史)③平成二十七年三月十五日・六月二十二日④四百円
- 近代日本と幕末外交文書編纂の研究①田中正弘(76史・79修史・82博史)②株思文閣出版③平成二十年二月十日④九千八百円
- 幕末維新期の社会変革と群像①田中正弘(76史・79修史・82博史)②株吉川弘文館③平成二十年七月一日④一万円
- 栃木市資料叢書第一集 栃木の在村記録 幕末維新期の胎動と展開 第一巻 岡田嘉右衛門親之日記(二)第二巻 岡田親之日記(二)①田中正弘(76史・79修史・82博史)②栃木市教育委員会③平成二十四年三月三十一日
- 甲斐古代豪族の系譜 塩海宿禰から塩田長者へ①森和敏(68史)北村千鶴③平成二十七年九月四日④六百九十四円
- 特別展「蔵王権現と修験の秘法」図録①②三井記念美術館③平成二十七年八月二十九日④二千三百円(税込)
- 句集 観世音菩薩①石井保(72文)②株ウエップ③平成二十七年八月十日④二千七百円
- 竹洞庵吟詩集 命燃ゆ①二ノ宮國竹(本名二ノ宮哲夫/80文)③平成二十六年七月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の二 風木①二ノ宮國竹③平成二十六年十月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の三 鐘の音①平家物語・全章段詩①二ノ宮國竹③平成二十六年十二月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の四 ぶなの連理①二ノ宮國竹③平成二十七年五月吉日
- 間中一代さんの栃木語り①野村敬子(69文)・霧林安道(93文)②瑞木書房③平成二十七年十月十五日④二千五百円
- 雇われ師範・豊之助めか喜び①千野隆司(82文)②株双葉社③平成二十七年十月十八日④五百九十三円
- 入り婿侍商い帖 関宿御用達(二)①千野隆司(82文)②株KADOKAWA③平成二十七年十月二十五日④六百円
- FESTIVAL NTE 1・2①長屋晃一編(113史)③平成二十七年三月十五日・六月二十二日④四百円

## マスコミ関係者が一堂に集う! 國學院大學マスコミ院友会が「創立35周年記念懇親会」を開催

國學院大學マスコミ院友会は、前身団体「松韻会」より105年、マスコミ院友会発足より35周年を迎えます。これを記念して来たる平成28年2月6日、母校に於いて「マスコミ関係者懇親会」を開催いたします。

日々変化をつづけている渋谷の街から、かつて通った大学までの通学路を久しぶりに歩き、ここ数年でガラリと変わった國學院大學を見学。さらには東京の街を一望するキャンパス内のタワー18階を会場に、マスコミ界で活躍の現役・先輩・後輩との交流の宴をお楽しみください。

日時：平成28年2月6日(土) 午後4時より受付開始 午後4時30分開演  
場所：國學院大學渋谷キャンパス若木タワー18階「有栖川宮記念ホール」  
参加費：4,000円(当日持参)  
※午後3時より院友関係者の案内による学内散歩を設けます。ご希望の方は事前にお申し込みの上、当日2時40分に、大学正門前にご集合ください。  
申込〆切：平成28年1月15日

【お問合わせ・参加申込先】  
ご氏名、卒業年、学部、勤務先、連絡先(メール又は電話番号)をご明記の上、下記いずれかにご連絡ください。  
■メールの場合 kokumass2015@gmail.com 〒150-0011 東京都渋谷区東4-12-8 一般財団法人 國學院大學院友会 宛  
■郵便物の場合 〇今回の懇親会にお越しいただけない方も、お名前、ご住所、卒業年、学部、勤務先、電話番号、メールアドレスの登録、変更などは是非ともお教えください。次回開催のご案内を差し上げたく存じます。

- 書名①著者・編集者名(卒期/敬称略)②出版社・発行所③刊行年月④定価(税別)
- 次男坊若さま修行中 初雷の祠①千野隆司(82文)②コスミック出版③平成二十七年四月七日
- 詩集 オディッセアス エリテイス詩集①東千尋(67哲)②土曜美術社出版販売③平成二十七年四月三十日④三千元
- 三井美術文化史論集第八号①公益財団法人三井文庫三井記念美術館③平成二十七年三月三十一日④非売品
- 入り婿侍商い帖 関宿御用達①千野隆司(82文)②株KADOKAWA③平成二十七年五月二十五日④六百円
- 歌集 朱夏峠①宮田宏輔(99文・102博前文)②株KADOKAWA③平成二十七年五月十日④二千六百円
- 栗原潔 歌集 子らととも①栗原潔(75文)②本阿弥書店③平成二十七年五月十九日④二千七百円
- 楚辞後話全注釈①吹野安(64文)・宮内克浩(94文)・96博前文・99博後文)②明德出版社③平成二十七年七月十五日
- 甲斐古代豪族の系譜 塩海宿禰から塩田長者へ①森和敏(68史)北村千鶴③平成二十七年九月四日④六百九十四円
- 特別展「蔵王権現と修験の秘法」図録①②三井記念美術館③平成二十七年八月二十九日④二千三百円(税込)
- 句集 観世音菩薩①石井保(72文)②株ウエップ③平成二十七年八月十日④二千七百円
- 近代日本と幕末外交文書編纂の研究①田中正弘(76史・79修史・82博史)②株思文閣出版③平成二十年二月十日④九千八百円
- 幕末維新期の社会変革と群像①田中正弘(76史・79修史・82博史)②株吉川弘文館③平成二十年七月一日④一万円
- 栃木市資料叢書第一集 栃木の在村記録 幕末維新期の胎動と展開 第一巻 岡田嘉右衛門親之日記(二)第二巻 岡田親之日記(二)①田中正弘(76史・79修史・82博史)②栃木市教育委員会③平成二十四年三月三十一日
- 甲斐古代豪族の系譜 塩海宿禰から塩田長者へ①森和敏(68史)北村千鶴③平成二十七年九月四日④六百九十四円
- 特別展「蔵王権現と修験の秘法」図録①②三井記念美術館③平成二十七年八月二十九日④二千三百円(税込)
- 句集 観世音菩薩①石井保(72文)②株ウエップ③平成二十七年八月十日④二千七百円
- 竹洞庵吟詩集 命燃ゆ①二ノ宮國竹(本名二ノ宮哲夫/80文)③平成二十六年七月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の二 風木①二ノ宮國竹③平成二十六年十月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の三 鐘の音①平家物語・全章段詩①二ノ宮國竹③平成二十六年十二月吉日
- 竹洞庵吟詩集 其の四 ぶなの連理①二ノ宮國竹③平成二十七年五月吉日
- 間中一代さんの栃木語り①野村敬子(69文)・霧林安道(93文)②瑞木書房③平成二十七年十月十五日④二千五百円
- 雇われ師範・豊之助めか喜び①千野隆司(82文)②株双葉社③平成二十七年十月十八日④五百九十三円
- 入り婿侍商い帖 関宿御用達(二)①千野隆司(82文)②株KADOKAWA③平成二十七年十月二十五日④六百円
- FESTIVAL NTE 1・2①長屋晃一編(113史)③平成二十七年三月十五日・六月二十二日④四百円

## 本阿彌光洲氏の人間国宝を祝う70期史学科1組クラス会

70期史学科の私共は、本阿彌氏の人間国宝認定を我が事の如く喜び、来年に予定していたクラス会を一年繰り上げて、祝賀会を兼ねることとした。五月二十一日新宿三丁目「木曾路」に、級友四十七名中十八名が集まった。遠い長崎・京都・富山からだけで五名も参加した。



最後のクラス会を惜しみつつ

幹事の挨拶後、花東贈呈に続いて本阿彌氏が謝辞を述べた。記念品代寄付のみの人も含めて二十九名より香炉一式を贈った。色紙にサインする者や数名が本阿彌氏を囲んで記念撮影する等、懇親会は従前以上に盛り上がった。また、二次会には、最後のクラス会というところもあり、ほぼ全員が参加した。

おしゃべりに花が咲き、不参加者の写真を見て、もう一度会いたかったという声も聞かれた。全十回のクラス会の場所は、院友会館と渋谷が中心で、新宿や箱根から京都もあった。最終的に人間国宝を祝う会を兼ねて有終の美を飾ることができたのは、最高の幸せであった。

加藤直道 (70史・80修史) 記

お弁当のご用命は

保存料・合成着色料を一切使わず、玉子焼きやかまぼこに至るまで割烹職人手づくりのお弁当です。

ご注文・お問合せ 03-5609-1898

◆東京23区内、市川市、浦安市は8,000円以上のご注文で無料配送いたします。  
※世田谷区、大田区、板橋区、杉並区、練馬区は15,000円以上

TEL 03-5609-1898 / FAX 03-5609-1897  
http://masumoto.co.jp

取締役 副社長 坂本 美雄 (84期)



